

DuraForce EX

KY-51D

取扱説明書

本書は「Android™ 13」をベースに記載しており、OS バージョンアップにより変更が入ったアプリや機能などについて「Android 14 による変更点」にまとめて記載しています。

Android 14 にバージョンアップしたお客様は「Android 14 による変更点」をご確認ください。

はじめに

「KY-51D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



【ご利用方法】

ホーム画面で [田] ▶ [取扱説明書]

※初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

※「my daiz」から「取扱説明書」(eトリセツ) アプリを呼び出すこともできます。



Wi-Fiの
使いかた

「Wi-Fi」を説明書
アプリで調べます。



「取扱説明書」(PDFファイル)

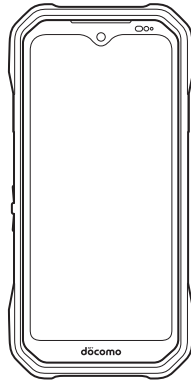
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

お知らせ

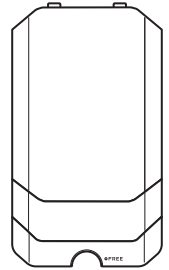
- 本書においては、「KY-51D」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

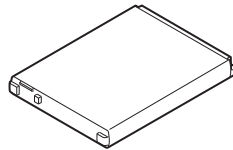
本体付属品



KY-51D本体



リアカバー
KY04<K>



電池パック KY02

- クイックスタートガイド
- 本端末に対応するオプション品 (別売) は、ドコモのオンラインショップで確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

Android 14による変更点

Android 14による変更点

Android 14にバージョンアップを行うことで変更される主な箇所について説明します。

本書は「Android 13」をベースに記載しておりますので、P.1以降は基本的に「Android 13」の記載です。
本項目に記載がない場合は、P.1以降の項目でご確認ください。

- 操作に大きく影響しない変更やデザインのみの変更など、一部変更点については説明を省略している場合があります。
- バージョンアップ後のアプリや機能の更新状況などによっては、本端末の動作と説明が異なる場合があります。

追加・変更項目一覧

全体

項目	内容	説明ページ
全体	デザインや色が一部変更されます。	—

初期設定

項目	内容	説明ページ
初期設定	初期設定の操作の一部が変更されます。画面の指示に従って操作してください。	—

PINコード

項目	内容	説明ページ
PINコードを設定する	PINコードを設定する操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [設定] ▶ [セキュリティとプライバシー] ▶ [その他のセキュリティとプライバシー] ▶ [SIM ロック] ▶ [SIM をロックする] ▶ 現在のPINコードを入力 ▶ [OK]	—
PINコードを変更する	PINコードを変更する操作が、以下のように変更されます。 PINコードはSIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。 ホーム画面で [設定] ▶ [セキュリティとプライバシー] ▶ [その他のセキュリティとプライバシー] ▶ [SIM ロック] ▶ [SIM PINの変更] ▶ 現在のPINコードを入力 ▶ [OK] ▶ 新しいPINコードを入力 ▶ [OK] ▶ もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [OK]	—

バッテリーセーバー

項目	内容	説明ページ
バッテリーセーバー	バッテリーセーバーを設定する操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [設定] ▶ [バッテリー] ▶ [バッテリーセーバー] ▶ [バッテリーセーバー] ▶ [バッテリーセーバー] ▶ [バッテリーセーバー] ▶ [バッテリーセーバー] ▶ [バッテリーセーバー] ▶ [バッテリーセーバー]	—


画面表示とアイコン

項目	内容	説明ページ
ステータスアイコン	「バッテリーセーバー設定中」を示すアイコンが [電池] から [電池] に変更されます。	—

マルチウィンドウ

項目	内容	説明ページ
マルチウィンドウ	画面を分割する操作が、以下のように変更されます。 画面下端から上にスライドし、指を止めて離す ▶ 分割表示したいアプリ表示上部のアイコンをタップ ▶ [分割画面] ▶ 同時に表示したいアプリをタップ	—

ホーム画面

項目	内容	説明ページ
ホーム画面/docomo LIVE UX	ホーム画面のアプリアイコンなどがいない部分をロングタッチしたときに、[ホーム設定] と操作したメニュー項目のうち、項目名が「マイマガジン 起動設定」から「上スワイプ操作設定」に変更されます。 上スワイプ操作の利用のON/OFFと、任意のアプリを上スワイプで起動できるように設定できます。	—
ホーム画面/シンプルホーム	アプリアイコンショートカットをロングタッチしたときに、ショートカットメニューに「  」が表示されなくなります。特定の操作のショートカットをホーム画面に追加する操作に変更はありません。	—

アプリ一覧

項目	内容	説明ページ
マイマガジン	アプリ名が「マイマガジン」から「SmartNews for docomo」に変更されます。	—

電話を受ける

項目	内容	説明ページ
電話を受ける／着信を拒否する	ロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってきたとき、画面上部に表示される着信通知での操作が、以下のように変更されます。 電話を受けるとき：「電話に出る」から「応答」に変更されます。 着信を拒否するとき：「電話に出ない」から「拒否」に変更されます。	—

ウェブブラウザ

項目	内容	説明ページ
ウェブブラウザの設定を変更する	ホーム画面で [📁] ▶ [⋮] ▶ [設定] と操作したメニュー項目の設定内容の一部が変更されます。	P.U-3

バーコードスキャナー

項目	内容	説明ページ
バーコードを読み取る	操作の一部が変更されます。	P.U-3
照合機能を利用する	機能が追加されます。 マスターデータ（照合元データ）とスレーブデータ（照合先データ）が一致しているか判定します。	P.U-4

フォト

項目	内容	説明ページ
写真や動画を表示する	画面が変更されます。	P.U-4

おサイフケータイ

項目	内容	説明ページ
NFC／おサイフケータイの機能をONにする	NFC／おサイフケータイの機能をONにする操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [📁] ▶ [設定] ▶ [接続設定] ▶ [接続の詳細設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ] ▶ [NFC／おサイフケータイ] をONにする	—
NFC／おサイフケータイの機能をロックする	画面ロック中にNFC／おサイフケータイの機能をロックする操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [📁] ▶ [設定] ▶ [接続設定] ▶ [接続の詳細設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ] ▶ [NFC／おサイフケータイロック ON/OFF] をONにする	—

項目	内容	説明ページ
非接触型決済を利用する	非接触型決済を利用する操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [📁] ▶ [設定] ▶ [接続設定] ▶ [接続の詳細設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ] ▶ [非接触型決済] ▶ [デフォルトの決済アプリ] ▶ アプリを選択 ▶ [←] ▶ [デフォルトの決済アプリを使用する] ▶ [常時] / [別の決済アプリが起動されている場合を除く] ▶ 本端末のマークを非接触型決済マークのある読み取り機にかざす	—

設定メニュー

項目	内容	説明ページ
ネットワークとインターネット	ネットワークのアクセスポイントをQRコードで登録する操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [📁] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [インターネット] ▶ [ネットワークを追加] ▶ [SSIDを入力] の [📷] ▶ 本端末のカメラにWi-FiネットワークのQRコードを映す	—
ネットワークとインターネット	eSIMのSIM情報を設定する操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [📁] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM] ▶ [SIMの追加] ▶ [eSIMを設定] •以降は画面の指示に従って操作してください。	—
接続済みのデバイス	ホーム画面で [📁] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、項目名が「接続済みのデバイス」から「接続設定」に変更されます。また、設定内容のうち、項目名が「接続の設定」から「接続の詳細設定」に変更され、設定内容の一部が変更されます。	P.U-4
アプリ	ホーム画面で [📁] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、「アプリ」の設定内容の一部が変更されます。	P.U-4
通知	ホーム画面で [📁] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、「通知」の設定内容の一部が変更されます。	P.U-4
バッテリー	ホーム画面で [📁] ▶ [設定] ▶ [バッテリー] ▶ [バッテリーセーバー] と操作したメニュー項目のうち、項目名が「充電時にOFFにする」から「90%充電されたらOFFにする」に変更されます。	—

項目	内容	説明ページ
ストレージ	microSDカード/USBドライブをフォーマットする操作が、以下のように変更されます。 ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [このデバイス] ▶ [SDカード] / [USBドライブ] ▶ [⋮] ▶ [フォーマット] ▶ [フォーマット] ▶ [完了]	—
着信音とバイブレーション	ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、項目名が「着信音とバイブレーション」から「音とバイブレーション」に変更され、設定内容の一部が変更されます。	P.U-4
壁紙とスタイル	ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、「壁紙とスタイル」の設定内容の一部が変更されます。	P.U-4
ユーザー補助	ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、「ユーザー補助」の設定内容の一部が変更されます。	P.U-5
セキュリティ	ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、「セキュリティ」と「プライバシー」が「セキュリティとプライバシー」として統合され、設定内容の一部が変更されます。	P.U-5
プライバシー		
緊急情報と緊急通報	ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、項目名が「緊急情報と緊急通報」から「安全性と緊急情報」に変更されます。	—
システム	ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] ▶ [システム] と操作したメニュー項目のうち、「言語と入力」の項目が「言語」と「キーボード」に分割され、設定内容の一部が変更されます。	P.U-6
デバイス情報	ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] と操作したメニュー項目のうち、「デバイス情報」の設定内容の一部が変更されます。	P.U-6

主な仕様

項目	内容	説明ページ
Bluetooth	バージョンが5.4に変更されます。	—

削除項目一覧

アプリ一覧

項目	内容	説明ページ
スマホ診断online	アプリが削除されます。	P.36

通知

項目	内容	説明ページ
点滅	項目が削除されます。	P.61

バッテリー

項目	内容	説明ページ
自動調整バッテリー	項目が削除されます。	P.61

Android 14による変更点の詳細

ウェブブラウザの設定を変更する

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で [🌐]
- 2 [⋮] ▶ [設定]

同期を有効にする	項目名が「同期を有効にする」から「同期を ON にする」に変更されます。
安全確認	項目名が「安全確認」から「安全チェック」に変更されます。
トップページ	項目名が「トップページ」から「ホームページ」に変更されます。
新しいタブページのカード*	項目が追加されます。新しいタブページのカードを利用するかどうかを設定します。
ツールバーショートカット	項目が追加されます。検索バーの右にショートカットメニューを設定します。

*使用状況により表示される項目が異なる場合があります。

バーコードスキャナー

バーコードを読み取る

以下の操作に変更されます。

- 1 ホーム画面で [⌘] ▶ [バーコードスキャナー]
- 2 [バーコードスキャン]
- 3 本端末のカメラを読み取りたいバーコード/QRコードに向ける

バーコードスキャナーの設定

以下の項目が追加されます。

- 1 ホーム画面で [⌘] ▶ [バーコードスキャナー]
- 2 [バーコードスキャン]
- 3 [🔍]

誤読チェック回数	項目が追加されます。バーコードを誤読していないかチェックする回数を設定できます。
カメラ	項目が追加されます。アウトカメラ/インカメラを切り替えることができます。
Bluetoothによる文字列送信	項目が追加されます。読み込んだデータをBluetoothで送信します。

照合機能を利用する

以下の機能が追加されます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [バーコードスキャナー]
- 2 [照合機能]

1:1 照合	マスターデータが1つ、スレーブデータが1つのときに照合するモードです。
1:N 照合	マスターデータが1つ、スレーブデータが複数のときに照合するモードです。
順番照合 (N:N)	マスターデータが複数、スレーブデータが複数のときに照合するモードです。
機能ガイド	照合機能について確認します。

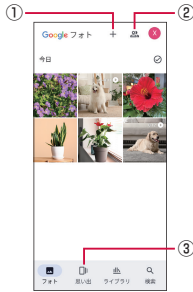
- 3 [1:1 照合] / [1:N 照合] / [順番照合(N:N)]
- 4 画面の指示に従って、マスターデータの登録とスレーブデータのスキャンを行う

フォト

写真や動画を表示する

以下の画面に変更されます。

- 1 ホーム画面で[フォト]



- 1 新規作成
 - アルバムの作成や写真プリントなどができます。
- 2 共有
 - 共有パートナーアカウントの設定や、共有された写真の確認ができます。
- 3 思い出
 - 写真や動画が大切な瞬間のタイムラインとして自動的に整理され、アルバムとして保存したり、他のユーザーと共有したりできます。

接続済みのデバイス

接続の設定

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [接続設定]
- 2 [接続の詳細設定]

ニアバイシェア	項目名が「ニアバイシェア」から「Quick Share」に変更されます。
USB機器の自動検出	項目が追加されます。USB機器を接続したときに自動検出をONにするかどうかを設定します。

アプリ

以下の項目が追加されます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [アプリ]

アプリのバッテリー使用量	項目が追加されます。アプリごとに電池の使用量を設定できます。
--------------	--------------------------------

通知

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [通知]

アプリの設定	項目名が「アプリの設定」から「アプリの通知」に変更されます。
点滅による通知	項目が追加されます。通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに撮影ライト/ライトや画面を点滅させるかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可	項目名が「通知のスヌーズを許可」から「通知のスヌーズを許可する」に変更されます。
お知らせLED	項目が追加されます。不在着信やメール受信、充電状態などを充電ランプで通知するかどうかを設定します。

着信音とバイブレーション

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [音とバイブレーション]

着信音と通知の音量	「着信音の音量」と「通知の音量」に分割され、各音量を個別に設定できるようになります。
タッチ操作音	項目名が「タッチ操作音」から「タッチ/クリック操作音」に変更されます。

壁紙とスタイル

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [壁紙とスタイル]

時計の色とサイズ	項目が追加されます。時計の色とサイズを設定します。
… (システムカラー)	項目が追加されます。「壁紙の色」の項目が移動されます。「ダークモード」の項目が移動されます。「基本の色」の項目名が「その他の色」に変更され、移動されます。画面の配色を変更します。
ショートカット	項目が追加されます。スタート画面にショートカットを表示するかどうかを設定します。
スタート画面に通知を表示する	項目が追加されます。スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
スタート画面の詳細オプション	項目が追加されます。スタート画面に表示する情報を設定します。

ユーザー補助

以下の項目が追加されます。

① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

点滅による通知	項目が追加されます。 通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに撮影ライト/ライトや画面を点滅させるかどうかを設定します。
---------	---

セキュリティ／プライバシー

以下の項目が表示されます。

① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティとプライバシー]

デバイスをスキャン*	項目が追加されます。 本端末の設定を確認します。
アプリのセキュリティ	項目が追加されます。 「Google Play プロテクト」の項目が移動されます。
デバイスのロック解除	項目が追加されます。 「セキュリティの種類」の項目名が「画面ロック」に変更され、移動されます。 「顔認証と指紋認証によるロック解除」の項目が移動されます。
アカウントのセキュリティ	項目が追加されます。 Google アカウントが保護されているかや、保存されたパスワードのセキュリティを確認できます。
デバイスを探す	「セキュリティ」から移動されます。
システムとアップデート	項目が追加されます。 「セキュリティ アップデート」 「Google Play システム アップデート」の項目が移動されます。
プライバシー	項目が追加されます。 「権限マネージャー」「プライバシーダッシュボード」「広告」「カメラへのアクセス」「マイクへのアクセス」「アクティビティ管理」の項目が移動されます。 「パスワードの表示」の項目名が「パスワードを表示」に変更され、移動されます。 「クリップボードへのアクセスを表示」の項目名が「クリップボードへのアクセスを通知」に変更され、移動されます。 「ヘルスコネクト」の項目が追加され、健康に関するデータの管理や、特定のアプリにデータへのアクセスを許可するかどうかを設定します。 「位置情報を共有する方法の更新」の項目が追加され、ユーザーの位置情報を共有する方法を変更したアプリを表示します。 「位置情報へのアクセス」の項目が追加され、アプリやサービスから位置情報へのアクセス権限を設定します。

その他のセキュリティとプライバシー

項目が追加されます。
「デバイス管理アプリ」「暗号化と認証情報」「信頼エージェント」「アプリ固定」「スタート画面上の通知」「アプリのコンテンツ」「Android System Intelligence」「Google の自動入力サービス」「使用状況と診断情報」の項目が移動されます。
「Smart Lock」の項目名が「ロック解除延長」に変更され、移動されます。
「SIM カードロック」の項目名が「SIM ロック」に変更され、移動されます。
「SIM の削除の確認」の項目名が「SIM の削除時に本人を確認」に変更され、移動されます。
「スタート画面にメディアを表示」の項目が追加され、スタート画面にメディアのプレヤーを表示するかどうかを設定します。
「Android セーフ ブラウジング」の項目が追加され、危険なウェブサイトを検出したときに通知をするかどうかを設定します。

* 使用状況により表示される項目が異なる場合があります。

画面ロックの解除方法を設定

以下の操作に変更されます。

- ① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティとプライバシー] ▶ [デバイスのロック解除] ▶ [画面ロック]
- ② [パターン]／[ロックNo.]／[パスワード]
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- [🔍] をタップしたとき、以下の項目が変更されます。
 - ロック解除を自動で確認する
6桁以上の正しいロックNo.が入力されると自動的にロック解除されます。セキュリティの種類を「ロックNo.」にし、6桁以上に設定しているときに表示されます。
 - ロックNo.のプライバシーを強化する
ロックNo.入力中のアニメーションを無効にするかどうかを設定します。セキュリティの種類を「ロックNo.」に設定しているときに表示されます。
 - 画面消灯後からロックまでの時間
項目名が「画面消灯後からロックまでの時間」から「画面が自動消灯してからロックまでの時間」に変更されます。

指紋認証／顔認証

指紋と顔の登録が以下のように変更されます。

- ① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティとプライバシー] ▶ [デバイスのロック解除] ▶ [顔認証と指紋認証によるロック解除]
- ② 「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」を入力して画面ロックを解除
- ③ [顔認証]／[指紋認証]
- ④ 内容を確認して[同意する]
 - 顔認証の場合、「スタート」をタップして以降は画面の指示に従って操作してください。
 - 指紋認証の場合、以降は画面の指示に従って操作してください。

システム

言語

以下の項目が表示されます。

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [言語]

言語	項目名が「言語」から「システムの言語」に変更され、移動されます。
アプリの言語	「言語と入力」から移動されます。
地域別の設定	項目が追加されます。 地域別に温度の単位と過最初の曜日を設定します。
音声入力	「言語と入力」から移動されます。
デバイスによる認識	項目が追加されます。 本端末が認識する音声について設定します。
テキスト読み上げの設定	「言語と入力」から移動されます。

キーボード

以下の項目が表示されます。

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [キーボード]

画面キーボード	「言語と入力」から移動されます。
物理キーボード*	「言語と入力」から移動されます。
スペルチェック	「言語と入力」から移動されます。
単語リスト	「言語と入力」から移動されます。
ポインタの速度	「言語と入力」から移動されます。

*本端末にキーボードを接続したときに表示されるようになります。

ジェスチャー

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [ジェスチャー]

システムナビゲーション	項目名が「システムナビゲーション」から「ナビゲーションモード」に変更されます。
着信音をミュート	項目が追加されます。 ⏻ (電源ボタン) と 🔊 (音量上ボタン) を同時に押したときの動作を設定します。

日付と時刻

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [日付と時刻]

タイムゾーンを自動的に設定	項目名が「タイムゾーンを自動的に設定」から「自動設定」に変更されます。
タイムゾーンの設定に位置情報を使用	項目名が「タイムゾーンの設定に位置情報を使用」から「位置情報を使用する」に変更されます。

リセットオプション

以下の項目が変更されます。

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [リセットオプション]

Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	「モバイルネットワークの設定をリセットする」と「BluetoothとWi-Fiのリセット」に分割されます。
ダウンロードされた eSIM を消去	項目名が「ダウンロードされた eSIM を消去」から「eSIM を消去」に変更されます。
全データを消去 (出荷時リセット)	項目名が「全データを消去 (出荷時リセット)」から「すべてのデータを消去 (初期設定にリセット)」に変更されます。

デバイス情報

以下の項目が追加されます。

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報]

EID	項目が追加されます。 EIDを表示します。
-----	--------------------------

目次

取扱説明書について.....	H2
----------------	----

Android 14による変更点

Android 14による変更点.....	U-1
Android 14による変更点の詳細.....	U-3

注意事項

本端末のご利用について.....	3
おすすめ機能.....	3
安全上のご注意（必ずお守りください）.....	4
取り扱い上のご注意.....	9
防水／防塵／耐衝撃性能.....	11
お手入れのしかた.....	13

ご使用前の準備

各部の名称と機能.....	16
電池パック.....	17
SIMについて.....	19
microSDカード.....	20
充電.....	22
電源を入れる／切る.....	23
初期設定.....	24
本端末で利用する暗証番号について.....	25

基本操作

基本操作.....	26
文字入力.....	28
お知らせLED.....	30
画面表示とアイコン.....	30
タスクマネージャー.....	31
マルチウィンドウ.....	31

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた.....	33
docomo LIVE UX.....	33
アプリ一覧画面.....	34
シンプルホーム.....	35
アプリ一覧.....	35

電話／電話帳

電話をかける.....	37
電話を受ける.....	38
通話中の操作.....	38
通話履歴.....	39
伝言メモ.....	39
通話設定.....	39
電話帳.....	40

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール.....	42
+メッセージ.....	42
Gmail.....	44
緊急速報「エリアメール」.....	44
ウェブブラウザ.....	44

カメラ／ギャラリー

カメラ.....	47
バーコードスキャナー.....	49
フォト.....	50

アプリ

dメニュー.....	51
Play ストア.....	51
おサイフケータイ.....	51
ラジオ.....	53
位置情報サービスについて.....	53
時計.....	53
スケジュール.....	55
メモ.....	55
電卓.....	55
ドコモデータコピー.....	55

本体設定

設定メニュー.....	57
ネットワークとインターネット.....	57
接続済みのデバイス.....	60
アプリ.....	60
通知.....	61
バッテリー.....	61
ストレージ.....	62
着信音とバイブレーション.....	62
ディスプレイ.....	62
壁紙とスタイル.....	63
ユーザー補助.....	63
セキュリティ.....	64
プライバシー.....	66
位置情報.....	67
緊急情報と緊急通報.....	67
ドコモのサービス／クラウド.....	67
パスワードとアカウント.....	68
Digital Wellbeing と保護者による使用制限.....	68
Google.....	68
システム.....	68
デバイス情報.....	69

ファイル管理

ストレージ構成.....	70
ファイル操作.....	70

データ通信

Bluetooth®通信.....	71
NFC通信.....	72

外部機器接続

パソコンとの接続.....	73
---------------	----

海外利用


国際ローミング (WORLD WING) の概要	74
海外で利用可能なサービス	74
海外でご利用になる前に	74
滞在先で電話をかける／受ける	75
国際ローミングの設定.....	76
帰国後の確認	76

付録

トラブルシューティング (FAQ).....	77
ソフトウェアアップデート.....	80
保証とアフターサービス.....	81
主な仕様.....	82
認証および準拠.....	83
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について	83
Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones	83
FCC Notice.....	84
輸出管理規制	85
知的財産権について.....	85
索引.....	87

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンのが表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合があります。
- 5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能を実行するすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねます。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイルネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客様から事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客様の情報及びその他の当社が保有しているお客様の情報を用いてお客様のニーズを推測し自動的に選定されます。お客様の情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定める通り適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください(→P.64)。

- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしません。

おすすめ機能

バッテリー交換機能

電源を入れたまま、電池パックを交換できます(→P.18)。

ダイレクトボタン

端末の両サイドにダイレクトボタンを搭載しています。よく使うアプリを設定しておくことで、素早くアクセスできます。(→P.27)。

バーコードスキャナー

バーコードスキャン専用のアプリを搭載し、バーコードやQRコードの読み取り、確認をスムーズに行えます(→P.49)。

3.5φイヤホンジャック(イヤホンマイク端子)

3.5φイヤホンジャックを搭載。ヘッドホン、イヤホンマイクなどの装着が簡単にできます(→P.16)。

ウェットタッチ/グローブタッチモード

濡れた手でも操作できるウェットタッチや、現場作業などで厚手のグローブをした状態でもタッチ操作が可能なグローブタッチモードに対応しています(→P.63)。




通話後録音

通話終了時に、直前の通話内容を音声データとして保存します。通話後に聞き直すことができます(→P.40)。

機能の詳細については、京セラのホームページ(<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/lineup/ky-511d/>)をご覧ください。







安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1.本端末、電池パック、アダプタ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。

→P.11「防水／防塵／耐衝撃性能」



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P.11「防水／防塵／耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池や電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P.11「防水／防塵／耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P.11「防水／防塵／耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、外部接続端子、受話口/スピーカー、送話口/マイク部に入らないようにしてください。

本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

●電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。

●本端末の電源を切る。

●電池パックを本端末から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水/防塵性能については以下をご参照ください。

→P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。

nanoSIMカード/microSDカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れられたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2.本端末の取り扱いについて

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

撮影ライト/ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けて撮影ライト/ライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のnanoSIMカード/microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたら、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかり握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指などの身体の一部を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

→P.8「材質一覧」



指示

本端末の受話口／スピーカ一部に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
指示 暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

⚠危険



禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本端末からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
→P.17「電池パックを取り付ける」
→P.18「電池パックを取り外す」



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確かめてください。
誤った向きで取り付けたと、電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
→P.17「電池パックを取り付ける」



指示

電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックに強い衝撃が加わった場合や外観に変形や破損が見られる場合は、直ちに使用をやめてください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。
電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意



禁止

電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

4.アダプタの取り扱いについて

⚠警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧を使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

5.nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠️ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ側、側面パネル）、背面カバー（カメラ周囲部）	PC樹脂	UV硬化塗装
背面カバー（カメラ上部）、リアカバー、音量上/下ボタン、ダイレクトボタン左/右、ロックノブ	PC樹脂	—
外装ケース（上面/下面バンパー）	TPU	—
電源ボタン/指紋センサー	エポキシ樹脂	熱硬化塗装
ディスプレイ、アウトカメラレンズ	化学強化ガラス	防汚処理
外装パネル（撮影ライト/ライト）	PMMA樹脂	—

使用箇所	使用材質	表面処理
ケース嵌合ネジ	SWCH	三価クロメート処理
nanoSIMカード／microSDカードトレイ、電池ロック	POM樹脂	—
電池パック接続部	銅	金メッキ（下地Niメッキ）
銘板ラベル	PET	—
ゴムパッキン	シリコン	—

■ 電池パック KY02

使用箇所	使用材質	表面処理
外装	PC樹脂	—
シール	PET（基材）	マットニス加工（表面）
端子	銅	金メッキ（下地Niメッキ）

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
電池パック、アダプタ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となりますのでご注意ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・端子や各センサーなどが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
 - ・シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
 - ・柔らかい布に泡ハンドソープやイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付けて拭くことができます（→P.14）。
※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムに浸したり、直接吹きかけると故障の原因になります。必ず柔らかい布に付けて拭くようにしてください。
- 本端末はアルコール除菌シート・アルコールを少量含ませた布（布が濡る程度）で拭き取りをすることができます。耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。
(1) イソプロピルアルコール、(2) エタノール、(3) 次亜塩素酸ナトリウム
アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池や電池パックなどの故障、破損の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子に差し込んだ状態の場合、故障、破損の原因となります。

- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- ACアダプタ
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です）、湿度は35%～90%の範囲でご使用ください。
- KY-51D本体
- 電池パック
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本端末についてのごお願い

- ディスプレイを強く押ししたり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はリアカバーなどを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→P.16「各部の名称と機能」
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のようにしてください。
 - ・長期保管される場合は、端末の電源を切って、常温で保管してください。

- ・2年以上放置される場合には、定期的に電源を入れて3時間以上放置してください。

- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

電池パックについてのお願い

- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックを保管される場合は、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 電池パックを交換する際は、ゴミやほこり、水などが入らない環境で行ってください。屋外などでの交換は避けてください。
- 電池パックを持ち運ぶ際は、電池や端子を傷つけないようにしてください。
- 電池パックの種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

アダプタについてのお願い

- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

nanoSIMカードについてのお願い

- nanoSIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- 環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードに以下のことをしないでください。
 - ・曲げたり、重いものをのせる
 - ・ラベルやシールなどを貼った状態で本端末に取り付ける

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

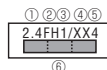
- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生していても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で [設定] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [認証情報] で確認できます。

ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥ 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

一部の国/地域ではBluetooth機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。

航空機内での利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生していても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無線LANについて
 - 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [認証情報] で確認できます。

ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ⑤ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかがご利用を中断していただき、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5.2 / 5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 中継局と通信する場合を除く）。本端末が使用するチャンネルは次の通りです。

- W52 (5.2GHz帯 / 36,40,44,48ch)
- W53 (5.3GHz帯 / 52,56,60,64ch)
- W56 (5.6GHz帯 / 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch)

FeliCa® およびNFCリーダー／ライターについてのお願い

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法 / 電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [認証情報]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でもご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水 / 防塵 / 耐衝撃性能

KY-51Dは、リアカバーをしっかりと閉じた状態でIPX5*1、IPX8**2の防水性能、IP6X**3の防塵性能を有しています。また、MIL規格準拠**4の耐衝撃性能を実現しております（当社試験方法による）。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに電話機本体を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
- ※3 IP6Xとは、防塵試験用粉塵（直径75μm以下）が入った装置に、電話機を2時間入れても内部に侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 MIL規格準拠
米国国防総省が定める耐久試験MIL-STD-810Hの21項目に加え、独自の耐久試験項目に準拠しています。
※日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

■ MIL-STD-810H 項目

風雨	降雨量1.7mm/min、6方向各30分間の降雨試験、風速18m/s環境下で30分間の降雨試験
浸漬	約1.5mの水中に30分間浸漬する試験
雨滴	高さ1m雨滴（15分）の防水試験
粉塵	連続6時間（風速8.9m/s、濃度10.6g/m ³ ）の粉塵試験

落下	高さ約1.22mから26方向で鋼板に落下させる試験
衝撃	衝撃試験機に端末を取り付け、40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
振動	3時間（3方向各1時間/20～2,000Hz）の振動試験
太陽光照射	連続20時間1,120W/m ² の日射後、4時間offを10日間繰り返す試験
湿度	連続10日間（95%RH）の高湿度試験
高温保管	60℃で連続4時間の高温耐久試験 30℃～60℃までの温度変化させる高温保管試験
高温動作	50℃に固定した3時間の動作試験 32℃～49℃まで3サイクル温度変化させる動作試験
低温動作	-21℃に固定した3時間の低温動作試験 -30℃で連続4時間の低温保管試験
温度耐久・温度衝撃	-21℃～50℃の急激な温度変化において連続3時間の温度耐久試験
低圧保管	連続2時間（57.2kPa/高度約4.572m相当）の低圧保管試験
低圧動作	連続2時間（57.2kPa/高度約4.572m相当）の低圧動作試験
氷結・結露	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作を確認する試験
氷結・低温雨	-10℃環境下で着氷した氷の厚さが6mmになるまで氷結させる試験
塩水噴霧	連続24時間の5%塩水噴霧後、24時間乾燥させる塩水耐久試験

■ 京セラ独自試験項目

落下	高さ約1.8mから26方向でコンクリートに落下させる試験
タンブル	高さ約1.0mから500回連続落下させる試験
鋼球落下	約100gの鋼球を1mの高さからディスプレイ面に落下させる試験
L字落下	高さ約1.5mからL字型鉄アングルに落下させる試験
耐荷重	均等に約100kgfの面荷重をかける試験
高温保管	70℃で連続4時間の高温耐久試験 30℃～70℃までの温度変化させる高温耐久試験
高温動作	60℃で連続3時間の動作試験
泡ハンドソープ洗浄	泡ハンドソープ・泡ボディソープでの手洗い・すすぎの洗浄サイクル試験
耐薬品	イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを少量含ませた柔らかい布での拭き取り試験

- すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- リアカバーをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。
- 手や本端末が濡れている状態でのリアカバーの開閉は絶対にしてください。
- 水道水以外の液体（アルコール、海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、ジュース、アルコール飲料、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ベットの尿がかかる場所での使用はしないでください。

- かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口／マイク、受話口／スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れているものは困るものさばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- USB Type-C接続端子に水が残っている場合は、接続端子は使用しないでください。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカーなどに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本端末は水に浮きません。

リアカバーについて

- リアカバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかも挟まると浸水の原因となります。
- リアカバーを取り外し、取り付けたりする際は手袋などをしてまます操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- リアカバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

リアカバーの取り付けかた

リアカバーの取り付けかたについては、「電池パックを取り付ける」(→P.17) をご参照ください。

水以外が付着した場合

- 柔らかい布に泡ハンドソープやイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付け拭くことができます(→P.14)。
- やや弱め的水流（6リットル/分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、リアカバーが開かないように押さえないから手で洗ってください。

水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本端末に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

ゴムパッキンについて

- リアカバーを取り付ける際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷つき、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかも挟まると浸水の原因となります。

- 水以外の液体が付着した場合は耐久性を維持できなくなる場合があります。
- リアカバーの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。本端末が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、浸水の原因となります。
- リアカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。

耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本端末は耐熱設計ではありません。

防塵について

- 塵埃が本端末に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

衝撃について

- 本端末は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

お知らせ

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点で有料にて承ります。

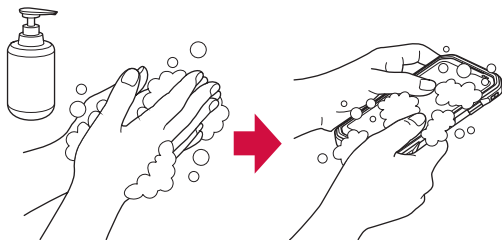
お手入れのしかた

本端末が汚れたときは、泡ハンドソープやアルコールなどを使用してお手入れできます。

- お手入れは電源を切って、ケーブル類をすべて取り外してから行ってください。

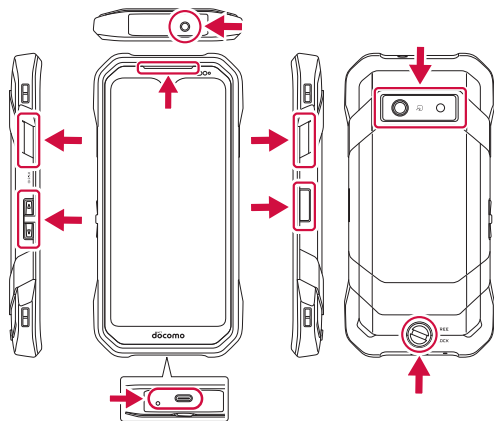
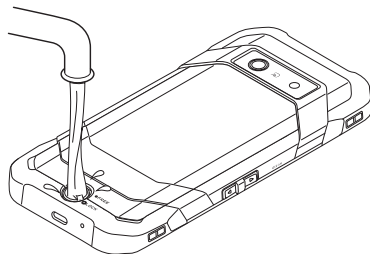
泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

- 1 本端末の電源を切る
- 2 手を洗って水分を拭き取り、ハンドソープ／ボディソープを手のひらにのせて十分に泡立ててから本端末を持ち、前面と背面が同じ程度ですられるように洗う



- 3 前面、背面、各ボタンをハンドソープ／ボディソープの泡が完全になくなるまですすぐ

- リアカバーを付けたまま、弱めの水流（6リットル／分以下）で以下の箇所（➡）を洗い流します。ハンドソープ／ボディソープの泡が残っていると故障の原因になりますので、泡が残っている場合は、泡がなくなるまでよくすすいでください。



4 「水に濡れたときの水抜きについて」(→P.14)を参照して水抜きをする

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認する

お知らせ

- 市販のアクセサリ商品（端末カバー、ケースなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- アルカリ性のハンドソープ／ボディソープや業務用のハンドソープ／ボディソープ、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。
- 種類の異なるハンドソープ／ボディソープは混ぜないでください。
- 製品の有する性能は試験環境下での確認であり、無故障を保証するものではありません。
- ハンドソープ／ボディソープ原液を直接付けしないでください。原液が付いた場合には、直ちに水で洗い流してください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときはリアカバーがしっかり閉じていること(→P.17)を確認し、ブラシヤスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- 洗浄時の製品傷つき防止のため、装飾品（腕時計、指輪、付け爪など）は外してください。
- 急激な温度変化により本製品内部への浸水のおそれがありますので、本製品が冷え切った状態や温かい状態では洗わないでください。本製品は常温（25℃程度）の状態ですっきり洗ってください。

アルコールを使用する場合

1 繊維くすの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール(99.7%以下)、エタノール(99.5%以下)、次亜塩素酸ナトリウム(1.0%以下)を少量(布が湿る程度)含ませ、本端末を拭き取ります。

※アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。

※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムは消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などのおそれがあります。

※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムに浸したり、直接吹きかけると故障の原因になります。必ず柔らかい布に少量(布が湿る程度)付けて拭くようにしてください。

お知らせ

- 市販のアクセサリ商品（ストラップなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本端末が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、常温で1時間以上放置して乾燥させてから充電してください。
- 濡れた手で指定のACアダプタ（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定のACアダプタ（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。

水に濡れたときの水抜きについて

本端末を水に濡らした場合は、必ず送話口／マイク、受話口／スピーカーなどの水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

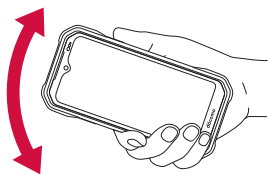
1 本端末表面の水分を繊維くすの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る



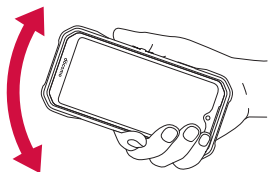
2 振りかたについて

- ① 本端末をしっかりと持ち、水が出なくなるまで矢印方向に振る
 - 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
 - 本端末が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

受話口／スピーカー側：
各20回以上

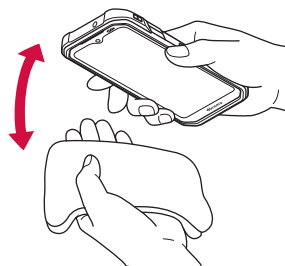
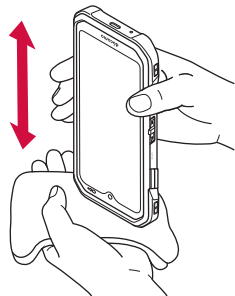
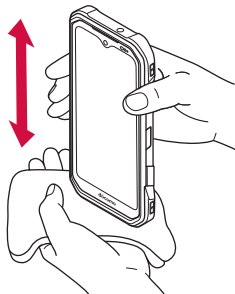


送話口／マイク側：
各20回以上



② 出てきた水分を拭き取る

- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、イヤホンマイク端子、USB Type-C接続端子や各ボタンは特に水が抜けにくいので、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。



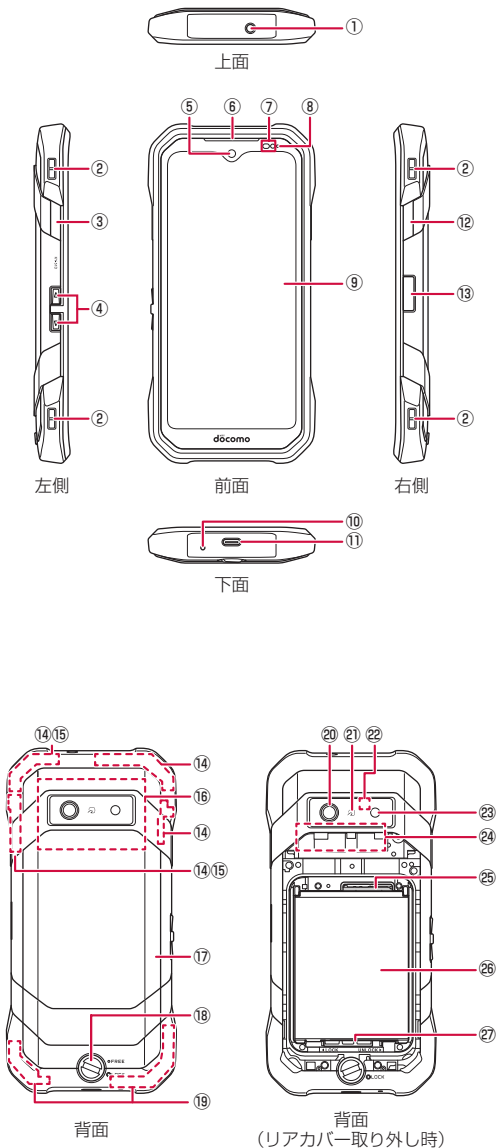
③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置する

③ 本端末から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させる

- 本端末に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないかご確認の上、ご使用ください。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



- ① イヤホンマイク端子
- ② ストラップ取付部
- ③ ◀: ダイレクトボタン左
 - 1回押し、2回押し、長押し時の操作を行うとそれぞれに設定した機能が動作します (→P.27)。
- ④ ◻◻: 音量上/下ボタン
 - 通話音量などを調節します。
- ⑤ インカメラ
- ⑥ 受話口/スピーカー
 - 通話中の相手の声や、着信音、音楽、アラーム音などが聞こえます。
- ⑦ 近接センサー/光センサー※1
 - 近接センサーは通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤操作を防ぎます。
 - また、光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑧ 充電ランプ
 - 充電中は赤色で点灯します。
- ⑨ ディスプレイ (タッチパネル)
- ⑩ 送話口/マイク
 - 通話中に自分の声を伝えたり、通話音声の録音時に使用したりします。
- ⑪ USB Type-C接続端子
 - 充電時などに使用します。USB Power Deliveryに対応しています。
- ⑫ ◻◻: ダイレクトボタン右
 - 1回押し、2回押し、長押し時の操作を行うとそれぞれに設定した機能が動作します (→P.27)。
- ⑬ ◻◻: 電源ボタン/指紋センサー※1
 - スリープモードの移行/解除をします (→P.24)。
 - 画面が表示されるまで長押しして電源を入れます (→P.23)。
 - 電源が入っている状態で1秒以上押しとメニューが表示され、[緊急通報] [電源を切る] [再起動] [画面の保存] [バッテリー交換] などの操作ができます (→P.23)。
 - 指紋を登録している場合は、指紋認証での画面ロック解除ができます (→P.65)。
- ⑭ 内蔵サブアンテナ部※2
- ⑮ 内蔵Bluetooth/Wi-Fiアンテナ部※2
- ⑯ NFC (FeliCa) 対応アンテナ部※2
- ⑰ リアカバー
- ⑱ ロックノブ
- ⑲ メインアンテナ部※2
- ⑳ アウトカメラ
- ㉑ ◻マーク→P.51
 - ◻マークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして利用できます。
- ㉒ サブマイク
- ㉓ 撮影ライト/ライト
- ㉔ 内蔵電池
- ㉕ nanoSIMカード/microSDカードトレイ
- ㉖ 電池パック
- ㉗ 電池ロック

※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
 ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

電池パック

電池パックは、本端末専用の電池パック KY02をご利用ください。

- 電池パックは防水性能を有しておりません。

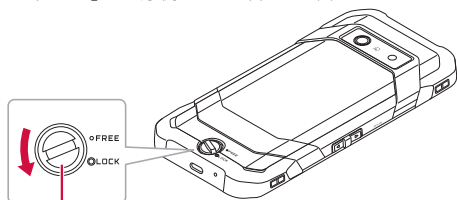
電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックを取り付ける

- 背面を上向きに行ってください。

1 ロックノブを反時計回りに回す

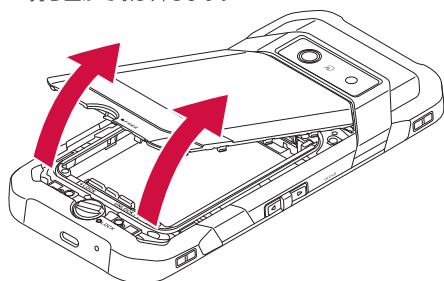
- 「FREE」の表示側にノブが合うまで回します。



ロックノブ

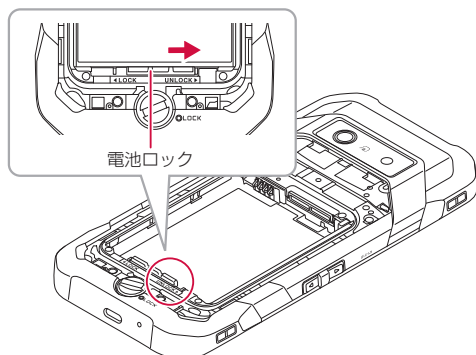
2 リアカバーを取り外す

- リアカバーの凹部に指先（爪）をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



3 電池ロックを「UNLOCK」の方向（右側）にスライドする

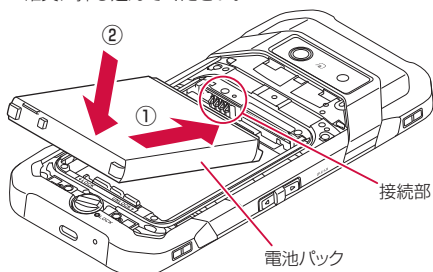
- 電池ロックが解除されます。電池ロックが解除されていないと、電池パックを取り付けることができません。



電池ロック

4 電池パックを取り付ける

- nanoSIMカード／microSDカードトレイが確実に取り付けられていることを確認してから、電池パックを取り付けてください。
- 接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込んでください。

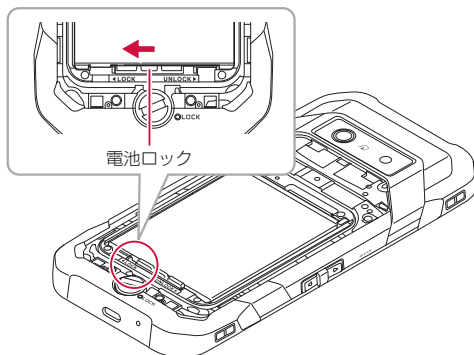


接続部

電池パック

5 電池ロックを「LOCK」の方向（左側）にスライドさせる

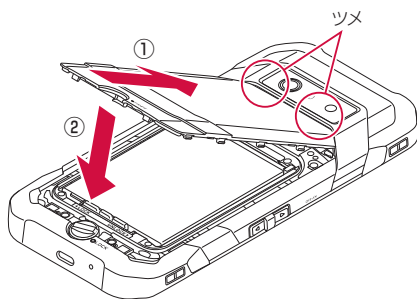
- 電池ロックがロックされ、電池パックが固定されます。



電池ロック

6 リアカバーを取り付ける

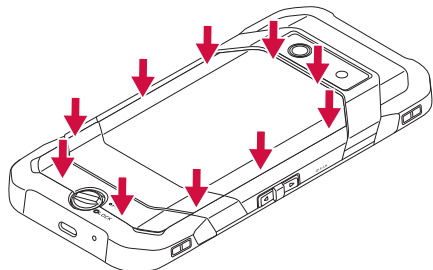
- ロックノブが「FREE」になっていることを確認してください。
- リアカバーのツメ2箇所を端末上部の凹部にはめてから(①)、リアカバーをはめ込みます(②)。



ツメ

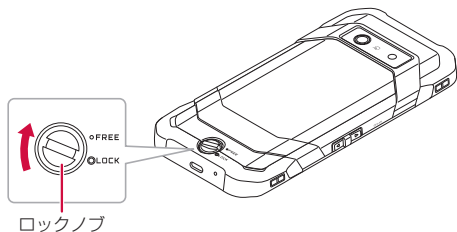
7 リアカバー全体に浮きがないように注意しながら、端末上部(カメラ側)から順に矢印の箇所を押してしっかりと閉じる

- ロックノブが「FREE」になっていること、電池ロックが「LOCK」になっていることを確認してください。リアカバーを無理に取り付けようとすると、破損するおそれがあります。
- 電池ロックがロックされていないと、リアカバーは閉じられません。
- リアカバーが浮いていると防水/防塵性能が発揮されません。リアカバー取り付け後は確実に閉じていることを目視でも確認してください。



8 ロックノブを時計回りに回す

- 「LOCK」の表示側にノブが合うまで回します。ロックされると「LOCK」の左側の○が赤になります。



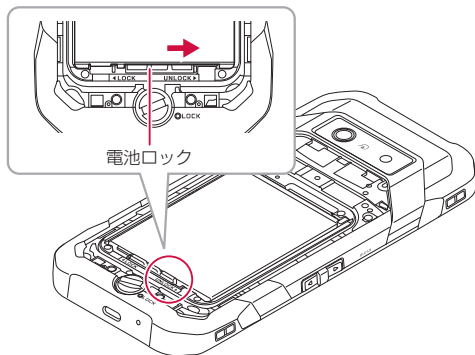
電池パックを取り外す

- 電池パックの取り外し時は、電源を切ってください。
- 電源を入れたまま電池パックの交換を行うこともできます(→P.18)。

1 リアカバーを取り外す(→P.17)

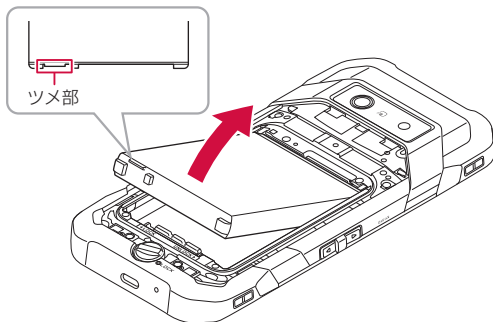
2 電池ロックを「UNLOCK」の方向(右側)にスライドする

- 電池ロックが解除され、電池パックの固定も解除されます。



3 電池パックを取り外す

- 電池パックのツメ部に爪を引っかけて、持ち上げるようにして取り外してください。



4 電池ロックを「LOCK」の方向(左側)にスライドし、リアカバーを取り付ける(→P.17)

お知らせ

- 電池パックを取り外すときに、ドライバなどの工具を用いしないでください。電池パックが破損するおそれがあります。

電源を入れたまま電池パックを交換する

1 [電源ボタン]を長押し(1秒以上)

2 [バッテリー交換]

- 初めてバッテリー交換をするときはバッテリー交換手順の説明画面が表示されます。画面を左にフリックするか、「次へ」をタップして内容を確認します。

3 [開始]

- バッテリー交換手順の説明を見たい場合は、「詳細を確認して開始」をタップします。
- 充電ランプが赤点滅から緑点灯に変わるとバッテリー交換が可能になります。
- アプリまたはシステムの処理中は、充電ランプが緑点灯せずにバッテリー交換がキャンセルされます。実行中のアプリを終了してから、再度お試しください。
- バッテリー交換をキャンセルする場合は、充電ランプが赤点滅している間に[電源ボタン]を押します。
※ 充電ランプが緑点灯後はバッテリー交換をキャンセルできません。手順に従って、バッテリー交換を行ってください。

4 「電池パックを取り外す」(→P.18) / 「電池パックを取り付ける」(→P.17)を参照し、新しい電池パックに交換する

- 電池パック取り外し後、2分以内に新しい電池パックに交換してください。2分以内に交換が完了しない場合は本端末の電源が切れます。未保存のデータが失われる可能性がありますのでご注意ください。

5 画面が表示されるまで[電源ボタン]を長押し

お知らせ

- バッテリー交換中はデータの紛失やシステムエラーを防ぐため、USB Type-C接続端子からケーブルや機器を取り外し、nanoSIMカード/microSDカードトレイの抜き差しはしないでください。

- microSDカードを保存先に設定している場合は、バッテリー交換中に保存先などの設定が変更されることがあります。バッテリー交換後、再度アプリごとに保存先の設定をしてください。
- バッテリー交換中は通信が停止されるため、着信や緊急速報メールの受信を行えません。
- 内蔵電池が劣化している場合はメッセージが表示されます。「続行」をタップしてバッテリー交換を継続することもできますが、内蔵電池の交換をおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(→P.81)をご確認ください。
- 内蔵電池に異常がある場合はメッセージが表示され、バッテリー交換がキャンセルされます。「OK」をタップして、内蔵電池を交換してください。
- バッテリー交換は極端な高温、低温では行えません。温度は5℃～35℃の範囲でご利用ください。
- 交換する電池パックの端子が汚れやほこりで覆われている場合は、電池パックの端子を乾いた柔らかい布で優しく拭き取ってください。
- nanoSIMカード/eSIMにPINコードを設定(→P.25)している場合は、バッテリー交換後にPINコードを入力する画面が表示されます。PINコードを入力してご利用ください。

SIMについて

本端末はnanoSIMカードとeSIMに対応しています。nanoSIMカードとeSIMを同時に利用する場合は電話、パケット通信などの機能を使用するときにどちらのSIMを使うか選択できます。ただし、nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- nanoSIMカードを取り付けないかつeSIMの設定をしていないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けないかつeSIMの設定をしていないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

nanoSIMカード/eSIMの暗証番号について

nanoSIMカード/eSIMには、PINコードという暗証番号があります(→P.25)。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

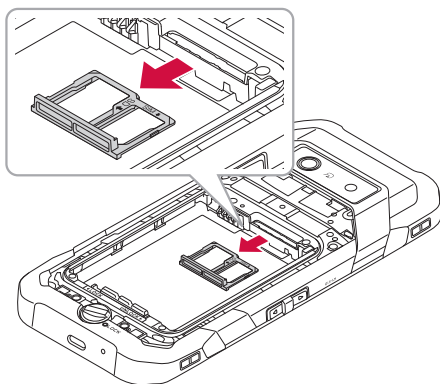
- 本端末では、nanoSIMカードのみご利用できます。ドコモ miniUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、IC(金属)面に触れたり傷つけたりしないようご注意ください。また、無理に取り付けようとして、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカード/microSDカードトレイが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

nanoSIMカードを取り付ける/取り外す

- nanoSIMカードの取り付け/取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください(→P.18)。取り付け/取り外しが終わったら、リアカバーと電池パックを取り付けてください(→P.17)。

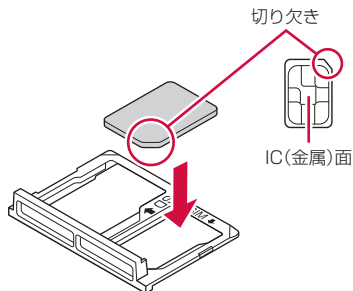
nanoSIMカードを取り付ける

- ① nanoSIMカード/microSDカードトレイをまっすぐに引き出す

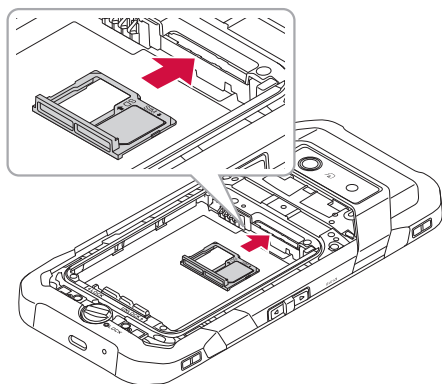


- 2 nanoSIMカードのIC(金属)面を下にして nanoSIMカード／microSDカードトレイにはめ込む

- 切り欠きの位置にご注意ください。
- nanoSIMカードがnanoSIMカード／microSDカードトレイから浮かないようにはめ込んでください。

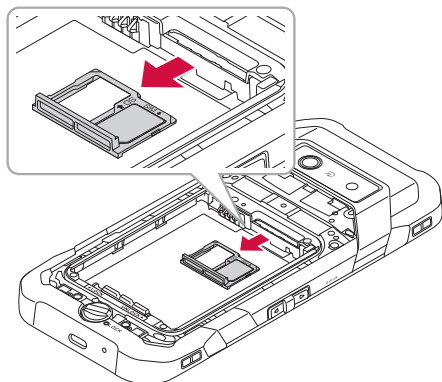


- 3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

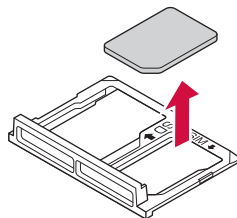


nanoSIMカードを取り外す

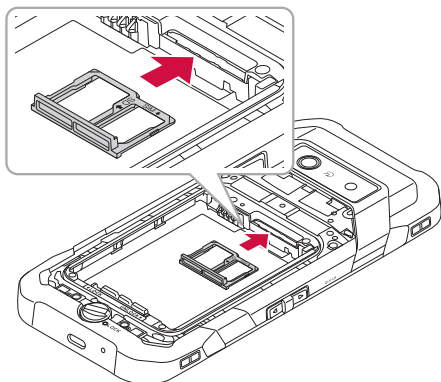
- 1 nanoSIMカード／microSDカードトレイをまっすぐに引き出す



- 2 nanoSIMカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



- 3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む



eSIM

本端末は、お客様の電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。

- eSIMのご利用には設定が必要です (→P.58)。
- お客様ご自身で、eSIMに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- eSIMについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりすることができます。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、1TBまでのmicroSDXCカードに対応しています (2024年11月現在)。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードについては、各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末にmicroSDカードを挿入した直後 (本端末で使用するための情報を書き込み中) や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切ったり、microSDカードを取り外さないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、本端末

で初期化する必要があります (→P.62)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、本端末では正常に使用できないことがあります。

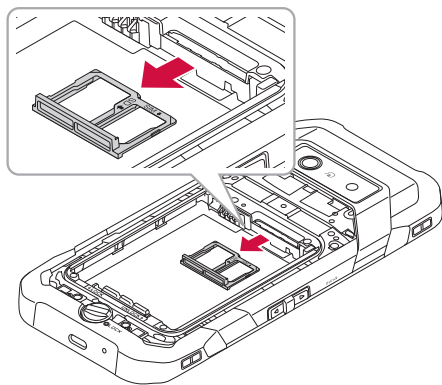
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してください。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを取り付けると、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、取り付けないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化する必要があります (microSDXCカードのデータはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード (microSDHCカードやmicroSDカードなど) をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

microSDカードを取り付ける／取り外す

- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きに、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください (→P.18)。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバーと電池パックを取り付けてください (→P.17)。

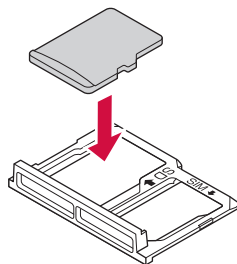
microSDカードを取り付ける

- 1 nanoSIMカード／microSDカードトレイをまっすぐに引き出す

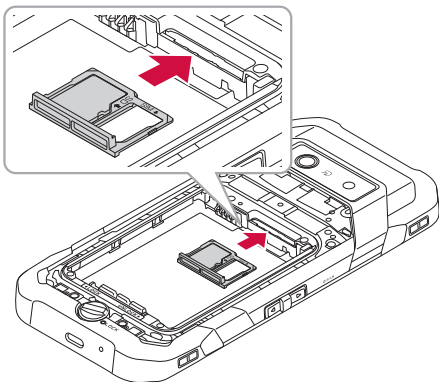


- 2 microSDカードの端子(金属)面を下にして nanoSIMカード／microSDカードトレイにはめ込む

- microSDカードがnanoSIMカード／microSDカードトレイから浮かないように、はめ込んでください。

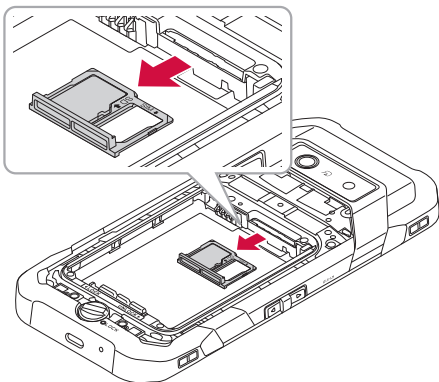


- 3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

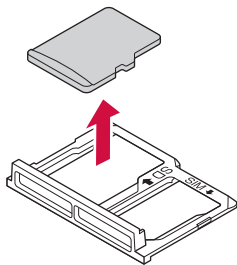


microSDカードを取り外す

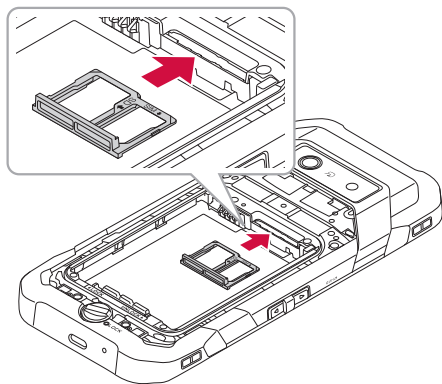
- 1 nanoSIMカード／microSDカードトレイをまっすぐに引き出す



- 2 microSDカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



- 3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む



充電

お買い上げ時の電池パックは十分に充電された状態ではありません。

- 充電時間の目安について→P.82

十分に充電したときの使用可能時間（目安）

使用環境や電池パックの状態により、本端末を使える時間は異なります。

- 使用可能時間の目安について→P.82

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらアプリの使用や動画撮影などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなる場合があります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。



内蔵電池の寿命について

- 本端末の内蔵電池は電源を入れたままバッテリー交換を行う（→P.18）ときのみ使用されます。内蔵電池の寿命が近い場合は、バッテリー交換時の画面に内蔵電池が劣化しているメッセージが表示されますので、早めに交換することをおすすめします。また、内蔵電池の状態は次の手順でもご確認いただけます。

ホーム画面で [設定] ▶ [バッテリー] ▶ [バッテリー交換] ▶ [内蔵バッテリーの状態]



充電について

- 本端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに「⚡」が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外すタイミングにより、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされた後、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

ACアダプタ、DCアダプタ

- 詳しくはACアダプタ 08（別売）、DCアダプタ（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 08は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

自動調整バッテリー

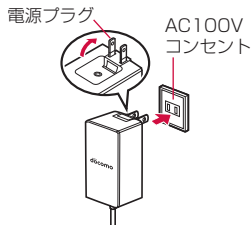
使用頻度の低いアプリの電池使用を制限して電池の消費を抑えることができます。

- 1 ホーム画面で [設定] ▶ [バッテリー]
- 2 [自動調整バッテリー] ▶ [自動調整バッテリーの使用]をONにする

ACアダプタを使って充電する

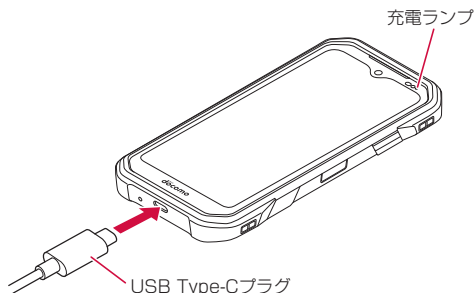
● ACアダプタ 08 (別売) を使って充電する場合は次の操作を行います。

1 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



2 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子にまっすぐに差し込む

- USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。
- 端末の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
- 充電中でも不在着信や通知メッセージがある場合は、充電ランプが青色に点滅します。
- 充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子から抜く

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ (別売) は、自動車のアクセサリソケット (12V/24V) から充電するための電源を供給するアダプタです。

● 取り扱いについて詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02 (別売) で接続すると、端末を充電することができます。

本端末とパソコンの接続方法

1 USBケーブル A to C 02 (別売) のUSB Type-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

お知らせ

- 本端末が対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、USBケーブル A to C 02を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 10、Windows 11 (いずれも日本語版) です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 画面が表示されるまで (電源ボタン) を長押し

- 初めて本端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください (→P.24)。

2 スタート画面を上へスライドし、画面ロックを解除

- ホーム画面が表示されます。
- 画面ロックの解除方法については「画面ロックを解除する」(→P.24) をご参照ください。

お知らせ

- 初めて本端末の電源を入れるときは、起動に時間がかかる場合があります。

電源を切る

1 (電源ボタン) を長押し (1秒以上)

- 次の項目のメニューが表示されます。

緊急通報	緊急通報番号 (110番、119番、118番) に発信します (→P.37)。
ロックダウン	スタート画面に通知を表示させないようにし、指紋認証や顔認証による画面ロックの解除をできないようにします。 <ul style="list-style-type: none">● スタート画面の「セキュリティの種類」(→P.64) が「パターン」/「ロック No.」/「パスワード」に設定されている場合に、表示されます。
電源を切る	本端末の電源を切ります。
再起動	本端末を再起動します。
画面の保存	現在表示されている画面を画像として保存することができます。
バッテリー交換	電源を入れたまま、電池パックの交換をします (→P.18)。

2 [電源を切る]

スリープモードにする

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤操作を防止したり、電池の消費を抑えたりすることができます。

1 (電源ボタン)を押す

- 再度(電源ボタン)を押すと、スリープモードが解除され、画面が点灯します。

お知らせ

- スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面で [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [画面消灯] と操作して、時間を選択します。

画面ロックを解除する

スタート画面(ロック画面)は電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

1 スタート画面で上にスライド

- ホーム画面、またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。
- スタート画面の画面上部に [] が表示されている場合は、スタート画面の「セキュリティの種類」(→P.64) が「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定されています。セキュリティロックを解除するとホーム画面が表示されます。
- Smart Lock (→P.64) が設定されている状態でSmart Lockが一時的に解除されている場合は、画面上部に [] が表示され、設定しているセキュリティ解除方法が実行されます。
- 「顔認証」で顔を登録すると、顔認証で画面ロックを解除できます (→P.65)。
- 「指紋認証」で指紋を登録すると、指紋認証で画面ロックを解除できます (→P.65)。

初期設定

初めて本端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定を行わない場合は、各操作で「スキップ」「いいえ」などをタップした後、画面の指示に従って操作してください。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[開始]

- 「日本語(日本)」をタップすると、使用する言語を変更できます。
- 「緊急通報」をタップすると、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信します (→P.37)。
- 「視覚補助」をタップすると、ユーザー補助機能に関する設定ができます。
- 以降は画面の指示に従って各項目を設定してください。
 - Wi-Fi接続の設定
 - アプリとデータのコピーの操作
 - Google アカウントの設定
 - Googleサービスの設定
 - バッテリー交換の使用状況の情報収集についての設定
 - スマートフォンの保護の設定
 - Google アシスタントの設定
 - Google Payの設定

2 ドコモ初期設定画面が表示されたら内容を確認して[次へ]

- 以降は画面の指示に従って各項目を設定してください。
 - 機能の利用確認

- dアカウントの設定
- かんたん一括設定 あんしん・便利

3 その他の設定項目の設定を行う

- 設定しないで続ける場合は「いいえ」をタップします。

4 ホーム画面の説明画面が表示されたら内容を確認して[次へ]

- 以降は画面の指示に従って各項目を設定してください。
 - my daizの設定
 - マイマガジンの設定

お知らせ

- 本端末にnanoSIMカードを取り付けていない状態で、初めてeSIMを利用する場合は、モバイルネットワークへの接続を促す画面が表示されます。「新しいeSIMをダウンロード」をタップし、画面の指示に従ってeSIMにSIM情報を追加してください (→P.58)。
- Google アカウントの設定や、設定の状況により表示される項目が異なる場合があります。
- 設定は後から変更することもできます。

Google アカウントの設定を行う

Google アカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogle アカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを受送信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で [設定] ▶ [パスワードとアカウント] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Google]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- Google アカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

dアカウントの設定を行う

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdアカウント対応のサービスやdポイントを利用するときに必要なID/パスワードです。

1 ホーム画面で [設定] ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [dアカウント設定]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけてください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

dアカウントのパスワード

dアカウントは、ドコモアプリで利用するアカウントです。dアカウントのパスワードは、初期設定時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます（→P.24）。

- dアカウントの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

画面ロック用のロックNo./パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です（→P.64）。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

PINコード

nanoSIMカード/eSIMには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（→P.25）。

PINコードは、第三者によるnanoSIMカード/eSIMの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、nanoSIMカード/eSIMが完全にロックされます。その場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

PINコードを設定する

PINコードを設定すると、電源を入れたときにPINコードを入力する画面が表示され、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面で[**田**]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[セキュリティの詳細設定]▶[SIMカードロック]
- 2 [SIMカードをロック]
- 3 現在のPINコードを入力▶[OK]

PINコードを変更する

- 1 ホーム画面で[**田**]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[セキュリティの詳細設定]▶[SIMカードロック]
- 2 [SIM PINの変更]
- 3 現在のPINコードを入力▶[OK]
- 4 新しいPINコードを入力▶[OK]
- 5 もう一度新しいPINコードを入力▶[OK]

お知らせ

- PINコードはSIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

基本操作

基本操作

ディスプレイ（タッチパネル）の使いかた

本端末は指で直接ディスプレイ（タッチパネル）に触れて操作します。

ディスプレイ（タッチパネル）利用上のご注意

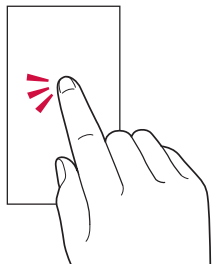
- タッチパネルは指で軽く触れるように操作してください。ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでの操作は正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になるおそれがあります。
- 次の場合はタッチパネルが動作しない、もしくは誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・ ディスプレイにシールや市販のシート類を貼った場合
 - ・ ディスプレイの表面が汚れている場合
 - ・ 爪の先で操作する場合
- ディスプレイに金属などの導電性物質が近づくとタッチパネルが誤動作する場合がありますので、ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際はご注意ください。

お知らせ

- 本端末はディスプレイや手が多少濡れていたり、手袋を着用した状態でもタッチ操作ができます（ウェットタッチ／グローブタッチモード）。
- 手袋を着用した状態でのタッチ操作が可能ですが、手袋の厚み・素材によってはタッチ操作しにくい場合があります。
- 指や手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
- 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。
- 手袋を着用した状態でのタッチ操作と素手のタッチ操作を同時に行った時は素手のタッチ操作を優先します。

タップ

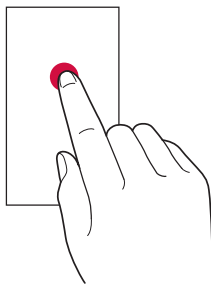
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。



ロングタッチ

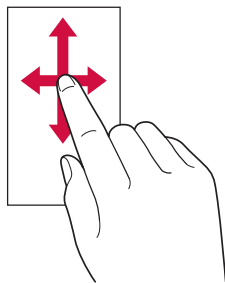
項目などに指を触れた状態を保ちます。

- ロングタッチの時間は設定することができます（→P.63）。



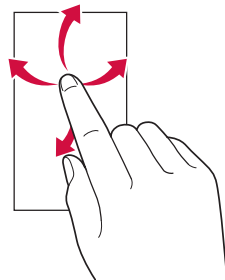
スライド/スワイプ

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



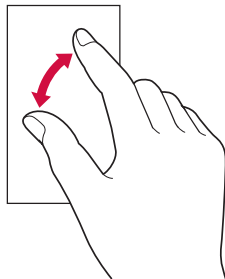
フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



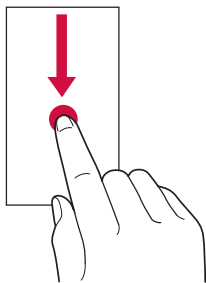
ズーム

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ズームイン）、閉じたり（ズームアウト）します。



ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ジェスチャーナビゲーションの基本操作

ナビゲーションバーが表示されているときにタッチパネルをスライド／フリックするだけで、ホーム画面を表示したり、1つ前の画面に戻るなどの操作ができます。

操作	概要
画面下部を上フリック	ホーム画面を表示します。
画面の左端または右端から内側にスライド	1つ前の画面に戻ります。
画面下部から少し上にスライドし指を止めて離す	アプリ履歴（タスクマネージャー）が表示されます（→P.31）。
画面下部を右にスライド	最近使用したアプリに切り替わります。

お知らせ

- 写真や動画再生中などで画面下部にナビゲーションバーが表示されない場合は、画面をタップすると表示されます。

ダイレクトボタン

◻（ダイレクトボタン左）／◻（ダイレクトボタン右）を押すと、あらかじめ設定したアプリを起動することができます。

ダイレクトボタンを設定する

- ホーム画面で[田]▶[設定]▶[ダイレクトボタン]▶[ダイレクトボタン右]／[ダイレクトボタン左]
 - 設定したいダイレクトボタンを選択します。
- [1回押し]／[2回押し]／[長押し]
 - 設定したい操作を選択します。
 - 「着信の応答／終話」をONにすると、ダイレクトボタン左／右の長押しで、着信の応答／終話ができるようになります。
 - 「画面消灯中でもアプリを起動」をONにすると、スリープモード中でもダイレクトボタンを利用できます。
- 設定したいアプリをタップ
 - 「なし」をタップして設定すると、ダイレクトボタン左／右を押してもアプリを起動しません。

お知らせ

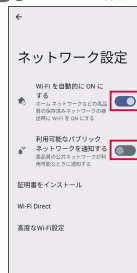
- ダイレクトボタン左／右に設定しているアプリをアンインストールした場合、ダイレクトボタン左／右は「なし」の設定になります。

設定の切替

設定項目の横にトグルスイッチなどが表示されているときは、タップすることで設定のON／OFFを切り替えることができます。

例：ネットワーク設定

「」はON、「」はOFFに設定されています。



縦または横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

- ホーム画面で[田]▶[設定]▶[ディスプレイ]▶「画面の自動回転」をONにする

お知らせ

- 本端末を垂直に立てた状態で操作してください。本端末を水平に近い状態で操作すると、画面表示が切り替わらない場合があります。
- 表示中の画面によっては、本端末の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

マナーモードを設定する

公共の場所などで、本端末の音を周囲に出さないように設定します。

- 音量上ボタンまたは音量下ボタンを押す
 - マナーモードアイコンと音量調節バーが表示されます。
- [パイプ]／[ミュート]／[ドライブ]／[マナーOFF]▶設定したいマナーモードをタップ
 - 設定できるマナーモードの種類は以下の通りです。
 - マナーOFF：マナーモードをOFFにします。
 - パイプ：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはパイプレータが動作します。
 - ミュート：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはパイプレータも動作しません。
 - ドライブ：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはパイプレータも動作しません。着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。

お知らせ

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音、録画開始／終了音は鳴動します。
- マナーモード設定中に「着信音と通知の音量」（→P.62）の音量を調節すると、マナーモードは解除されます。

- マナーモード設定中でも (音量上ボタン) / (音量下ボタン) を押し、動画やラジオなどの音量 (メディアの音量) を調節することができます。

表示されている画面を撮影する

現在表示されている画面を画像として保存することができます (スクリーンショット)。

- 1 撮影したい画面で (電源ボタン) と (音量下ボタン) を同時に押す

お知らせ

- 表示中の画面によっては画像を保存できない場合があります。
- (電源ボタン) を長押し (1秒以上) ▶ [画面の保存] と操作しても、表示している画面を画像として保存することができます。

利用するアプリを選択する

メールを送信するときや画像を表示するときなど、特定の操作で複数のアプリを利用できる場合は、アプリを選択する画面が表示されます。

例：メールを送信するアプリを選択する場合

- 1 ホーム画面で ▶ [ドコモ電話帳] ▶ 連絡先を選択 ▶ 使用するメールアドレスをタップ
 - 送信に使用するアプリの選択画面が表示されます。
- 2 アプリを選択 ▶ [1回のみ] / [常時]
 - 利用するアプリを毎回確認する場合は、「1回のみ」を選択します。常に同じアプリを利用する場合は、「常時」を選択します。
 - 「常時」を選択すると、次回同じ操作をしたとき、アプリの選択画面は表示されません。
 - 「1回のみ」を選択すると、次回同じ操作をしたとき、アプリが選択された状態の画面が表示されます。別のアプリを利用する場合は「別のアプリを使用」からアプリを選択してください。

お知らせ

- 「常時」に設定したアプリは次の操作で解除できます。ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [アプリ] ▶ [XX 個のアプリをすべて表示] ▶ 「常時」に設定したアプリをタップ ▶ [デフォルトで開く] ▶ [デフォルトの設定をクリア]

アプリの権限を設定する

本端末のアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可を求める画面が表示される場合があります。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可」 / 「許可しない」をタップしてください。

- アプリ / 機能によっては「今回のみ」「アプリの使用時のみ」などが表示される場合があります。

例：スケジュールを初めて起動した場合

- 1 アクセス権限の確認画面 ▶ [次の画面へ] ▶ [許可] / [許可しない]
 - 通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
 - 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと / 機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [アプリ]
- 2 [XX 個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選択 ▶ [権限] ▶ 機能を選択 ▶ [許可する] / [許可しない]

■ 機能ごとに設定する場合

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [プライバシー]
- 2 [権限マネージャー] ▶ 機能を選択 ▶ アプリを選択 ▶ [許可する] / [許可しない]

お知らせ

- 許可をしないとアプリ / 機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- アプリ / 機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

バッテリーセーバー

バッテリーセーバーをONにすると、電池の消費を抑えることができます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [バッテリー] ▶ [バッテリーセーバー] ▶ [バッテリーセーバーを使用する] ▶ [ONにする]

文字入力

文字入力は、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時など文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

入力方法の切り替え

お買い上げ時に設定されている入力方法以外に切り替えて使用することができます。

- 事前に他の入力方法をインストールしている場合に使用できます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [言語と入力] ▶ [画面キーボード] ▶ 入力方法を選択

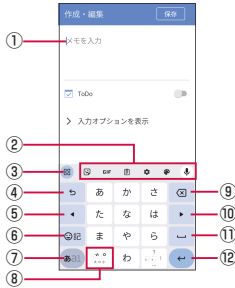
ソフトウェアキーボード

本端末では、次のキーボードを利用できます。

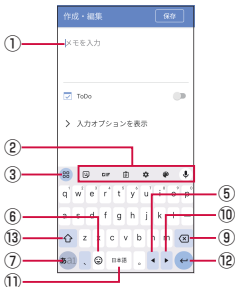
12 キー	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーをタップするたびに文字が切り替わります (トグル入力)。フリック入力もできます。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。タップしたキーに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。

手書き	手書きで入力できるキーボードです。
GODAN	ローマ字入力に特化したキーボードです。
五十音	五十音順に文字が並んでいるキーボードです。

文字入力のしかた



文字入力画面 (12 キー)



文字入力画面 (QWERTY)

- 文字入力エリア
- ツールバー
 - 文字を入力すると、変換候補リストが表示されます。
 - 「✓」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「^」をタップします。
- ツールキー
 - すべてのツールが表示されます。また、ツールの並べ替えができます。
- 逆トグル/戻すキー
 - 12 キーでの入力時に表示され、同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
- カーソルキー (左)
 - カーソルを左へ移動します。
- 絵文字/顔文字キー
 - 絵文字、顔文字などの一覧を表示します。
- 入力モード切替キー
 - 文字種を「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。ロングタッチするとキーボード設定の表示や片手モードの設定ができます。
- 大文字/小文字切替キー
 - ☐ / BnA : 文字入力時に大文字/小文字や半角/全角の切り替え、濁点/半濁点の入力をします。
- キーボード切り替えキー
 - ☐ : キーボード複数設定時に表示され、キーボードを切り替えます。
- 削除キー
 - カーソル位置の前の文字を削除します。

- カーソルキー (右)
 - カーソルを右へ移動します。
- スペースキー
 - スペースを入力します。「ひらがな漢字」入力中は、「変換」が表示され、タップすると変換候補リスト内の文字を順に表示します。
- 改行/確定キー
 - 文字の確定/改行、次の項目に移動などをします。
 - 一部の画面では、→ や ↵、✓ などが表示され、文字入力画面の内容にあわせた動作をします。
- シフトキー
 - 「QWERTY」キーボードでの入力時に表示され、小文字/1文字のみ大文字/大文字を切り替えます。

お知らせ

- 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

トグル入力について

「12 キー」キーボードで同じキーを連続してタップすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号を入力できます。同じキーに割り当てられた文字などを続けて入力する場合は、「▶」をタップしてから入力します。

例: 「あお」と入力する場合

- 「あ」を1回タップ ▶ 「▶」 ▶ 「あ」を5回タップ

フリック入力について

「12 キー」キーボードでキーを上下左右にフリックして入力できます。キーに触れると入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字を入力できます。

例: 「お」と入力する場合

- 「あ」に触れる ▶ 下にフリック



テキストの編集

文字を切り取り/コピーしてから貼り付ける

文字の切り取りやコピー、貼り付けができます。

- 文字入力画面 ▶ 文字列をロングタッチ ▶ 「☐」/「☐」をドラッグして範囲を選択
- 「切り取り」/「コピー」
- 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動 ▶ 「☐」▶ 「貼り付け」

単語リスト

よく利用する単語などを登録しておく、その読みを入力したときに変換候補リストとして表示されます。

- 文字入力画面 ▶ 「☐」▶ 「単語リスト」▶ 「単語リスト」


2 登録する言語をタップ

- 単語一覧画面が表示されます。

3 [+]

4 単語／よみを入力

お知らせ

- 登録した単語を削除する場合は、単語一覧画面で削除する単語をタップ▶「」と操作します。

文字入力の設定

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面▶

2 各項目を設定

言語	ソフトウェアキーボードを言語ごとに設定できます。
設定	キーの配置やキーボードのレイアウト、キー操作などについて設定できます。
テーマ	ソフトウェアキーボードの見た目を変更できます。
テキストの修正	入力候補やテキストの自動修正などについて設定できます。
グライド入力	QWERTYの英語入力でも文字間をスライドして単語を入力できるグライド入力について設定できます。
音声入力	音声入力について設定できます。
クリップボード	最近コピーしたテキストや画像を、ツールバーの位置に表示するかどうかなどを設定できます。
単語リスト	単語リストについては▶P.29
絵文字、ステッカー、GIF	絵文字候補の高速アクセス行やコンテンツの予測検索などを設定できます。
Gboardを共有	他のユーザーとGboardを共有します。
プライバシー	プライバシーに関する設定ができます。
評価のお願い	Gboardの評価をします。
アプリについて	Google アプリの利用規約などを表示します。
ヘルプとフィードバック	Googleのヘルプを表示します。

お知らせLED

充電ランプ

お知らせLED（充電ランプ）の点灯により、充電中の充電状態や通知の有無が確認できます。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
赤の点滅	充電が必要な状態であることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。
青の点滅	不在着信、通知メッセージがあることを示します。

白の点滅	+メッセージを受信したことを示します。
------	---------------------

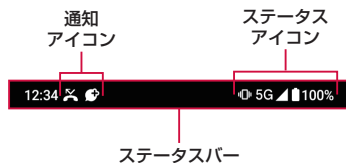
お知らせ

- 「バッテリー交換」(▶P.18)の利用時は、お知らせLED（充電ランプ）の色と動作、通知内容が通常時と異なります。

画面表示とアイコン

ステータスバー


ステータスバーには、通知があることをお知らせする「通知アイコン」と本端末の状態を示す「ステータスアイコン」が表示されます。





主なステータスアイコン

	電池レベル
	充電が必要な状態
	充電中
	バッテリーセーバー設定中
	バッテリーケアモード設定中
	電波の強さ(5段階)※1
	音声サービス使用不可
	データサービス使用不可※2
	音声・データサービスともに使用不可
	5G使用可能※3
	4G(LTE)使用可能※3※4
	国際ローミング中
	機内モード設定中
	Wi-Fi接続中(5段階)※3
	インターネット利用不可のWi-Fiに接続中※3
	マナーモード(パイプ)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	マナーモード(ドライブ)設定中
	高度な通知管理設定中
	Bluetooth機器接続中
	Wi-Fiテザリング中
	スピーカーで通話中
	伝言メモ設定中
	GPS測位中
	VPN接続中
	データセーバー設定中
	マイク使用中
	カメラ使用中

※1 nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、2つの電波状態(左はnanoSIMカード、右はeSIM)が表示されます。

※2 nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合のデータサービス電波状態は、どちらかが優先設定をした方を表示します。非優先のSIMはが表示されます。

※3 通信中はアイコンの左にが表示されます。

※4 本端末は、LTE接続時は常にが表示されます。

主な通知アイコン

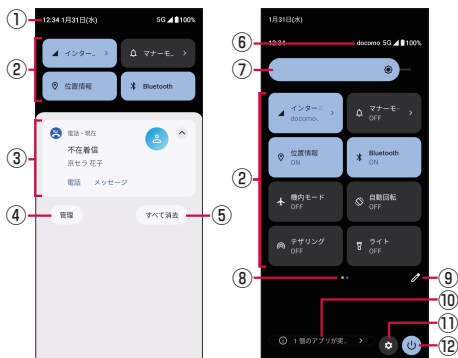
	新着メールあり
	新着＋メッセージあり／新着SMSあり
	新着Gmailあり
	不在着信あり
	発信中／通話中／着信中
	伝言メモあり
	留守番電話あり
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	エラー／注意などの通知あり
	radiko+FMを利用中
	アラーム鳴動中／アラームのスヌーズ中／次のアラームあり
	スケジュール／メモの通知あり
	カレンダーの通知あり
	ソフトウェアアップデートあり
	設定の通知あり
	本体メモリの空き容量低下
	表示しきれない通知あり

通知パネル

通知パネルでは、通知の内容を確認したり、対応するアプリを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にスライド

- 通知パネルが表示されます。
- 通知パネルを下にスライドすると、表示されていないアイコンや画面の明るさ調節スライダ、設定メニューアイコン、電源メニューアイコン、実行中のアプリの状態が表示されます。



通知パネル表示画面 クイック設定パネル展開画面

- 1 日付時刻
- 2 クイック設定パネル
 - よく使う機能のON/OFFなどを設定します。
 - クイック設定パネル展開画面のときは、表示エリアを左右フリックするとページを切り替えられます。
- 3 お知らせ（通知）エリア
 - 本端末の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。
- 4 通知管理
 - アプリからの通知について設定します。

- 5 すべて消去
 - タップすると通知をすべて消去できます。ただし、消去できない通知もあります。
- 6 通信事業者名
 - 接続している通信事業者名が表示されます。
- 7 画面の明るさ
 - スライダを左右にドラッグして、画面の明るさを調節します。
- 8 インジケータ
 - クイック設定パネルのページ枚数と現在の表示位置を表します。
- 9 編集
 - クイック設定パネルの並べ替えや追加、削除ができません。
- 10 実行中のアプリの状態
 - タップすると実行中のアプリの状態を表示します。
- 11 設定
 - 「設定」アプリを起動します。
- 12 電源メニュー
 - （電源ボタン）を1秒以上長押ししたときと同じメニューを利用できます（→P.23）。

お知らせ

- 画面下部から上にスライドしても、通知パネルを非表示にすることができます。
- 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。ただし、消去できない通知もあります。

タスクマネージャー

画面下端から上にスライドすると、最近使用したアプリをサムネイル表示して、アプリの確認や起動、切り替え、終了ができます。

1 画面下端から上にスライドし、指を止めて離す

- 最近使用したアプリがサムネイル表示されます。
- 左右にフリックするとサムネイルを切り替えることができます。
- サムネイルを上フリックすると、サムネイルが削除され、アプリを終了できます。すべてのサムネイルを削除するには、右にフリックしていくと画面の左端に表示される、「すべてクリア」をタップします。

お知らせ

- 「アプリ固定」（→P.64）がONの場合、アプリ表示上部のアイコンをタップ▶[固定]▶[OK]と操作すると、画面が固定されて表示中のアプリ以外の操作ができなくなります。
- アプリ固定中は電話の応答や第三者による位置検索ができなくなります。また、他のアプリが正しく動作しなかったり、通知が表示されない場合があります。
- 固定を解除するには、画面下端から上にスライドしてロングタッチします。


マルチウィンドウ

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

- 1 画面下端から上にスライドし、指を止めて離す
- 2 分割表示したいアプリ表示上部のアイコンをタップ▶[上に分割]

- 画面が上下に分割され、選択したアプリが上側に表示されます。

3 同時に表示したいアプリをタップ

- マルチウィンドウの下側にタップしたアプリが表示されます。
- 画面中央の「」を画面上端／下端までドラッグすると、マルチウィンドウが終了します。

お知らせ

- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は「docomo LIVE UX」と「シンプルホーム」が利用できます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ホーム切替] ▶ ホームアプリを選択

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。

docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で[田] ▶ [:] ▶ [ヘルプ]を参照するか、以下のホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。

すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



ホーム画面

- 1 **ウィジェット**
 - ウィジェット（Google 検索）を起動できます。
 - ウィジェットによってはロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。
- 2 **アプリアイコンショートカット**
 - タップすると、アプリを起動できます。
 - ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。「=」が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。
- 3 **インジケータ**
 - ホーム画面のページ数と現在の表示位置を示します。※画面をフリックする時のみ表示されます。
- 4 **ドック**
 - ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- 5 **カスタマイズエリア**
 - アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

- 6 **マチキャラ**
 - タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- 7 **フォルダ**
 - 複数のアプリアイコンなどが格納されています。
- 8 **アプリ一覧ボタン**
 - すべてのアプリを表示します。アプリを検索（→P.34）も利用できます。

ホーム画面の管理

アプリアイコンなどの移動

- 1 ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ
 - ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

アプリアイコンを追加

- 1 ホーム画面で[田]
- 2 ホーム画面に追加したいアプリアイコンをロングタッチ
- 3 [ホーム画面に追加]
 - 同じアプリアイコンを複数貼り付けることも可能です。

アプリアイコンをホーム画面から削除

- 1 ホーム画面で削除するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 画面上部の「削除」までドラッグまたはアプリアイコン上部に表示される「ホーム画面から消す」をタップ
 - ホーム画面からアプリアイコンは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

ウィジェットなどの削除

- 1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ
- 2 画面上部の「削除」までドラッグ

アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ
 - フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリアイコンをロングタッチします。
- 2 画面上部の「アンインストール」までドラッグ ▶ [OK] またはアプリアイコン上部に表示される「アンインストール」をタップ ▶ [OK]
 - アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。
 - アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

フォルダ名の変更

- 1 ホーム画面でフォルダを選択
- 2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される「✓」をタップします。

ホーム画面の設定

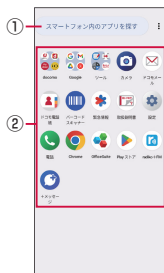
1 ホーム画面のアプリアイコンなどがいない部分をロングタッチ▶[ホーム設定]

2 項目を選択

通知ドット	アプリにお知らせがあるときのドット（点）のON/OFFができます。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアプリアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧のみに表示するか選択できます。 ※デフォルトではインストールしたアプリはアプリ一覧の最後に表示されます。
ホーム設定アイコン	ホーム画面に「ホーム設定」のアイコンを表示するか設定できます。
壁紙設定	ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
マチキャラ設定	マチキャラのON/OFFや、キャラ変更等マチキャラに関する設定ができます。
my daiz NOW表示設定	ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示設定ができます。
マイマガジン起動設定	マイマガジンの上フリック起動のON/OFFができます。
ホームの使い方	ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
ヘルプ	ホーム画面の詳しい使い方を確認できます。

アプリ一覧画面

「田」をタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリの並べ替えやフォルダの作成、アプリ名でアプリを検索することができます。



1 アプリ検索バー

- タップすると文字入力力でアプリを検索することができます。

2 すべてのアプリ

- 端末にインストールされているすべてのアプリが表示されます。タップするとアプリが起動します。

アプリ一覧画面の管理

アプリアイコンなどの移動

1 アプリ一覧画面で移動するアプリアイコンをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

フォルダ名の変更

1 アプリ一覧画面でフォルダを選択

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される「✓」をタップします。

マイマガジン

マイマガジンは、世の中で話題になっているニュース・記事から、お客さまひとりひとりの趣味・嗜好に沿った記事、そしてお得なクーポンや、暇つぶしに最適なマンガまでをまとめて閲覧できる、あんしん・あんぜんのニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客さまの好みに近づいていきます。表示ジャンルやお知らせの通知、星座や天気の情報など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

記事の見かた

1 ホーム画面で【】

- 初期画面が表示された場合は、「規約に同意してはじめる」をタップします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

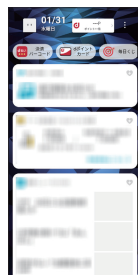
2 読みたい記事をタップ

- 記事一覧画面で記事をタップすると、その記事の詳細を読むことができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報がチェックできます。

画面の見かた



1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スライドで表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。

- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

表示設定

- ① ホーム画面のアプリアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホーム設定]
- ② 「my daiz NOW表示設定」をOFFにする

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

- ① ホーム画面で[田]▶[::]
- ② [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

シンプルホーム

シンプルホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド/フリックすると画面を切り替えることができます。



- ① ウィジェット
 - ウィジェット（Google検索）を起動できます。
 - 日付/時刻が表示されます。
 - ウィジェットによってはロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。
- ② アプリアイコンショートカット
 - タップすると、アプリを起動できます。
 - ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。「≡」が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。
- ③ インジケータ
 - ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。

アプリ一覧

お買い上げ時にインストールされているアプリは次の通りです。

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アプリ	概要
+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。
Chrome	ウェブページの閲覧を行うことができます。
dポイントクラブ	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。
Files	画像や動画、音楽、ダウンロードしたデータなどのファイルを探すことができます。
Gmail	Googleや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。
Google	キーワードから本端末内やウェブサイトを対象に検索できます。
Google TV	映画などをレンタルしたり、視聴したりすることができます。
iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。
Keep メモ	メモを編集できます。
Meet	ビデオ通話やオンライン会議を行うことができるアプリです。
my daiz	出発時間に合わせて天気や電車の遅延を知らせたり、さまざまな問いかけに対話で応えてくれるサービスです。あなたに合ったタイミングで、あなたに合った情報をお届けします。
OfficeSuite	Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。
Play ストア	アプリやゲームなどをダウンロード・購入できます。
radiko+FM	インターネットに接続して、インターネットラジオの放送を聞くことができます。
YouTube	YouTubeで動画の再生や、動画検索、動画のアップロードなどができます。
YT Music	公式アルバム/ミュージックビデオ/リミックス/カバー/ライブ版の幅広い音楽コンテンツが楽しめます。
あんしんセキュリティ	無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。
おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一瞥で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。
おすすめアプリ	お客様の利用状況に合わせておすすめするアプリやサービスを確認できます。
カメラ	静止画や動画の撮影ができます。

アプリ	概要
カレンダー	予定やリマインダーなどを登録して管理できます。
緊急情報	緊急事態の共有、安全確認などの機能を利用できます。
災害用キット	「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです。
スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。
スマホ診断 online	「電池がすぐなくなる」「おサイフケータイが使えない」など、故障かな?と思ったときに、いつでもどこでもスマホやタブレットの故障有無を診断できるアプリです。診断結果にもとづいた改善提案やお手続き方法もご案内します。
設定	本端末の各種設定ができます。
データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです。
データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で管理できるサービスです。
電卓	四則演算などの計算ができます。
電話	電話の利用や、通話の設定をすることができます (→P.37)。
時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチなどを利用できます。
ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。
ドコモメール	ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドライブ	Google ドライブに保存したファイルを開覧・編集できます。
取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
バーコードスキャナー	バーコードスキャナーを利用できます。複数のバーコードを同時に読み取ったり、連続で読み取りできます。
フォト	撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。
マイマガジン	マイマガジンは、日々新しい情報や驚きに触れあえる、あんしん・あんぜんの無料ニュースアプリです。
マップ	現在地を表示したり、目的地までの経路の検索などができます。
メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。

お知らせ

- アプリによっては、ダウンロード、インストールが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- お買い上げ時に登録されているアプリの一部はアンインストールできます。アンインストールしたアプリは「Play ストア」(→P.51) などから再度ダウンロードできる場合があります。

電話をかける

- 1 ホーム画面で[📞]▶[ダイヤル]
 - 電話番号入力画面が表示されます。
 - 2 電話番号を入力
 - 「✕」をタップすると、番号を1桁削除できます。
 - 3 [📞]
 - 4 通話が終了したら[🔴]
- 「通話後録音」(→P.40)についての画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- VoLTEは、通話を高品質でご利用いただけます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ VoLTE対応機種であること
 - ・ VoLTE利用可能エリアであること
 - ・ 「優先ネットワークの種類」が「5G/4G/3G/GSM」または「4G/3G/GSM」のいずれかに設定されていること(→P.74)
- VoLTE (HD+)は、通話の音声VoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。VoLTE (HD+)のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE (HD+)対応機種である必要があります。
- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、電話をかけるときに使用するSIMを設定できます(→P.58)。

プッシュ信号の入力

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を入力する必要があるサービスを利用する場合は、あらかじめ電話番号の他に追加する番号を入力して発信できます。

自動ボーズ (,) の利用

電話がつながると、追加した番号が自動的に送信されます。

- 1 ホーム画面で[📞]▶[ダイヤル]
 - 電話番号入力画面が表示されます。
- 2 電話番号を入力
- 3 [:]▶[特番付加]▶[自動ボーズ(,)]
- 4 番号を入力

手動ボーズ (;) の利用

電話が繋がったら、追加した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

- 1 ホーム画面で[📞]▶[ダイヤル]
 - 電話番号入力画面が表示されます。
- 2 電話番号を入力
- 3 [:]▶[特番付加]▶[手動ボーズ(;)]
- 4 番号を入力

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE (LTEネットワーク)のみ利用できます。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合やeSIMを設定していない場合、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切り、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信すると、着信拒否設定の項目がOFFに設定されます。

国際電話 (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 1 ホーム画面で[📞]▶[ダイヤル]
 - 電話番号入力画面が表示されます。
- 2 +(0)をロングタッチ▶国番号を入力▶地域番号(市外局番)を入力▶相手先電話番号の順に入力

お知らせ

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信画面が表示される



- 2 着信画面で「電話に出る」を右にスライド
- 3 通話が終了したら「電話に出ない」を右にスライド

お知らせ

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、着信しているSIMが表示されます。

ディスプレイ表示中に電話を受ける

ロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

- 1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される
- 2 「電話に出る」をタップすると、着信画面を表示できます。

着信を拒否する

- 1 着信画面で「電話に出ない」を左にスライド
 - ロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってきた場合は、着信通知または着信画面で「電話に出ない」をタップします。

伝言メモで応答する

事前に伝言メモを有効にしていなくても、手動で伝言メモを起動できます。

- 伝言メモについては→P.39

- 1 着信画面で「伝言メモに録音」をタップ
- 2 「録音を開始」をタップ

メッセージを送信する

着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

- 1 着信画面で「メッセージで返信」をタップ
- 2 送信するメッセージをタップ

通知パネルから着信画面を表示する

着信画面を閉じた場合などは通知パネルから表示できます。

- 1 着信中にステータスバーを下にスライド
- 2 「着信中」の通知をタップ
 - 着信画面に切り替わります。

通話中の操作

通話中の画面ではハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



- 1 相手の画像
- 2 通話時間
- 3 相手の名前や電話番号
- 4 通話を録音／録音を終了
 - 「通話音声メモ」(→P.40)の録音を開始／終了します。
- 5 通話相手を追加
 - 別の相手に電話をかけます。
- 6 通話を保留／保留を解除
 - 通話の保留／保留の解除をします。
- 7 スピーカー
 - ハンズフリー通話のONとOFFを切り替えます。
- 8 電話を切る
- 9 HD / HD+
 - 高音質通話中に表示されます。
- 10 聞こえ調整
 - 相手の声の聞こえ方を調整します。
- 11 ミュート／ミュートを解除
 - 相手に音声が届かないようにします。
- 12 ダイヤル
 - ダイヤル入力画面が表示されます。

お知らせ

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、通話中の画面に利用しているSIMが表示されます。
- ハンズフリー通話では次の内容にご注意ください。
 - ・ 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話するときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ・ ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

通話音量

- 1 通話中に「音量上ボタン」または「音量下ボタン」をタップ
 - 音量調節バーが表示されます。

通話履歴

通話履歴を表示する

1 ホーム画面で[☎]▶[履歴]

- 通話履歴一覧画面が表示されます。



1 フィルター

- 表示する着信の種類を選択できます。

2 履歴の内容

- タップすると履歴の詳細が表示されます。履歴の番号へ電話をかけたり、メッセージの送信などができます。

3 切り替えタブ

- タップしてダイヤル、履歴、電話帳、お気に入りを切り替えます。

4 発信アイコン

- タップすると電話をかけます。

お知らせ

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、各履歴に使用したSIMが表示されます。
- [⋮] ▶ [履歴を削除] ▶ 削除する履歴を選択 ▶ [OK] ▶ [OK] と操作すると、通話履歴を削除できます。

通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

1 通話履歴一覧画面で電話番号をタップ▶[電話帳に登録]▶[新しい連絡先を作成]

2 必要な項目を入力▶[保存]

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、ステータスバーに[☒]が表示されます。

1 ステータスバーを下にスライド

2 [不在着信]

伝言メモ

伝言メモを設定すると、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

- 1件あたりの最大録音時間について→P.82

1 ホーム画面で[☎]▶[⋮]▶[通話設定]▶[伝言メモ]

伝言メモ応答設定	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間	応答するまでの時間を設定します。
伝言メモリスト	伝言メモの再生や削除、保護/保護解除をします。
応答メッセージ	応答メッセージを設定します。

お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに[☒]が表示されます。ステータスバーを下にスライド▶[伝言メモ録音あり]と操作すると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- 録音された伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で削除する伝言メモをタップ▶[⋮]▶[削除]▶[OK]と操作します。

通話設定

ネットワークサービスや着信拒否など通話に関する設定ができます。

1 ホーム画面で[☎]▶[⋮]

2 [通話設定]

ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク	ネットワークサービスや国際ローミング時の設定、オフィスリンク、利用者情報の送信について設定します。 <ul style="list-style-type: none">● ネットワークサービスについて→P.40● 海外設定について→P.76● オフィスリンク設定について→P.40
国際ダイヤルアシスト	国際ダイヤルアシストについて→P.76
伝言メモ	伝言メモについて→P.39
着信拒否設定	着信拒否設定について→P.40
応答拒否メッセージ	電話に出られない場合などに、着信を拒否して送信するメッセージの編集やメッセージを自動で送信するかどうかの設定をします。
ロック解除中の着信画面の表示	画面ロック解除中、着信画面を全面に表示するか着信通知で表示するかを設定します。
ステップアップ着信	同じ人から10分以内に着信を受けると、着信音を徐々に大きく(ステップアップ)してお知らせするように設定します。
画面消灯中のライト点滅着信	着信時にライトを点滅させて、着信をお知らせするかどうかを設定します。
着信相手非表示	着信時に相手の名前や画像を表示しないようにするかどうかを設定します。
不在着信通知	未確認の不在着信通知がある場合、再度通知をするための操作を設定します。
通話音声メモ	通話音声メモについて→P.40
聞こえ調整	相手の声の聞こえかたを調整します。
通話時間	国内または海外での通話時間を確認できます。

お知らせ

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、「通話アカウント」が表示されます。[通話アカウント] ▶ 設定するSIMを選択と操作すると、ネットワークサービスなどを設定できます。

ネットワークサービスの設定

- 1 ホーム画面で[📶]▶[⋮]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]▶[ネットワークサービス]

留守番電話サービス	電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
転送でんわサービス	電話を転送するサービスです。
キャッチホン	通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
発信者番号通知	電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させるかどうかを設定できます。
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
番号通知お願いサービス	電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
着信通知	着信の情報をSMSでお知らせします。
英語ガイダンス	各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

オフィスリンク設定

オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。

- 1 ホーム画面で[📶]▶[⋮]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]
- 2 [オフィスリンク設定]
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

着信拒否設定

- 1 ホーム画面で[📶]▶[⋮]▶[通話設定]▶[着信拒否設定]
- 2 注意画面の内容を確認して[OK]

登録外着信拒否	電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
非通知着信拒否	電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
公衆電話着信拒否	公衆電話からの着信を受けないように設定します。
通知不可能着信拒否	電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。
番号指定拒否	指定した電話番号からの着信とSMSを拒否するように設定します。 <ul style="list-style-type: none">●指定電話番号の登録：[+]▶電話番号を編集▶[登録]

通話音声メモ

録音した通話音声メモを再生、削除などをしたり、通話後録音の設定をしたりできます。

通話音声メモを再生する

- 1 ホーム画面で[📶]▶[⋮]▶[通話設定]▶[通話音声メモ]
- 2 [通話音声メモリスト]
 - 通話音声メモリスト画面が表示されます。
- 3 再生したい通話音声メモをタップ▶[▶]
 - 音声再生されます。

お知らせ

- 通話音声メモを削除するには、通話音声メモリスト画面で[⋮]▶[削除]▶削除する通話音声メモを選択▶[OK]▶[OK]と操作します。

通話後録音を設定する

通話後録音をONにすると、通話終了時に、直前の通話内容を音声データとして保存します。

- 1 ホーム画面で[📶]▶[⋮]▶[通話設定]▶[通話音声メモ]
- 2 [通話後録音]▶[通話後録音を使用]をONにする

お知らせ

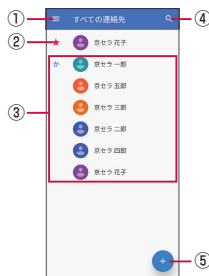
- [録音する対象]▶[ユーザー設定]と操作すると、通話後録音を使用する対象を設定できます。以降は画面に従って操作してください。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどの情報を入力できます。

電話帳を表示する

- 1 ホーム画面で[☎]▶[ドコモ電話帳]
 - 連絡先一覧画面が表示されます。



- ① メニュー
- ② お気に入りに登録した連絡先
- ③ 連絡先に登録された写真・名前
- ④ 連絡先を検索
- ⑤ 新しい連絡先の登録

お知らせ

- 「ドコモ電話帳」を初めて使用する（アプリの初期化後を含む）ときや「ドコモ電話帳」アプリでクラウドにログインするときには、「クラウド機能の利用について」画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。

電話帳を管理する

連絡先を登録する

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳] ▶ [+]
- ② 必要な項目を入力
 - 各項目をタップすると、項目を入力できます。
 - 項目によっては「▼」をタップすると、さまざまな設定の変更ができます。
- ③ [保存]

お知らせ

- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

電話帳から電話をかける

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳]
- ② 連絡先を選択 ▶ 発信したい電話番号をタップ

連絡先を編集する

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳]
- ② 編集する連絡先を選択 ▶ [✎]
- ③ 各項目を編集 ▶ [保存]

連絡先をお気に入りに追加する

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳]
- ② よく使う連絡先を選択 ▶ [☆]

メニューを利用する

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳]
- ② [≡] ▶ [設定]

ユーザー情報	自分のプロフィールを表示して編集できます。
クラウドメニュー	クラウドメニューを表示します。
dアカウント設定	dアカウントの設定をします。
海外利用設定	ドコモ電話帳を海外で利用する際、クラウドとの同期や設定など、通信が発生する機能を利用するかどうかを設定します。
利用状況レポート設定	利用状況の情報をドコモに送信するかどうかを設定します。 ● クラウドの利用開始と連動してオンになります。
アカウント	アカウントについて→P.68
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先をどのアカウントに登録するかを設定します。登録する際に「保存先」をタップして、アカウントを変更することもできます。
表示する連絡先	連絡先一覧画面に表示する連絡先を設定します。
フリガナ (名前)	連絡先に表示するふりがなを設定します。
インポート	連絡先をインポートします。
エクスポート	連絡先をエクスポートします。
番号指定拒否	着信拒否の設定を行います。

連絡先にラベル (グループ) を設定する

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳]
- ② [≡] ▶ [ラベルを作成]
 - Google アカウントなどを設定している場合は、アカウントを選択します。
- ③ ラベル(グループ)の名前を入力 ▶ [OK]
- ④ [田] ▶ ラベル(グループ)に追加する連絡先をタップ

自分のプロフィールを確認して情報を編集する

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳]
- ② [≡] ▶ [設定] ▶ [ユーザー情報]
 - 自分のプロフィール画面が表示されます。
- ③ [✎] ▶ 編集する連絡先を選択 ▶ 各項目を入力 ▶ [保存]

連絡先をエクスポート / インポート / 共有する

連絡先を内部ストレージやmicroSDカードからインポート / エクスポートできます。
● 連絡先によっては、データの一部がインポート / エクスポートされない場合があります。

- ① ホーム画面で [田] ▶ [ドコモ電話帳]
- ② [≡] ▶ [設定] ▶ [インポート] / [エクスポート]
- ③ インポート元やエクスポート方法を選択 ▶ 項目を選択
 - 「エクスポート」で「すべての連絡先を共有」を選択した場合は、通知パネルの通知表示 (→P.31) から「ドコモ電話帳」の通知をタップして共有に使用するアプリを選択します。
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で[✉]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

+メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス (SMS) での送受信をすることができます。

また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。

+メッセージの詳細については、ホーム画面で [+メッセージ] ▶ [マイページ] ▶ [ヘルプ] ▶ [使い方ガイド] を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[+メッセージ]

- 画面下部のメニューより「連絡先」をタップすると連絡先一覧画面が、「メッセージ」をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



① 切替タブ

- タップすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者（+のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

② マイプロフィール

- お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

③ 公式アカウントを探す

- タップすると公式アカウントストアが表示されます。

④ お気に入りの連絡先

- お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上位、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。

⑤ +

- +メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

⑥ 連絡先

- タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

⑦ +

- タップすることで連絡先を追加できます。

⑧ プロフィール画像

- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

⑨ 公式アカウント

- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角 (□) で表示されます。

⑩ i

- サブメニューを表示します。
 - ・ すべて既読: 未読メッセージをすべて既読にします。
 - ・ メッセージの並べ替え: メッセージの並べ替えを行います。

⑪ メッセージ

- タップするとメッセージ画面を表示することができます。

⑫ ✓

- ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

⑬ +

- 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ [+メッセージ] / [新しいメッセージ] / [新しいグループメッセージ]

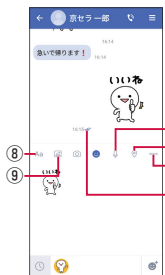
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者（連絡先に+マークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、「名前や電話番号を入力」をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、「OK」をタップしてください。

4 メッセージ入力欄をタップ ▶ 文字を入力 ▶ [+]

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



- ①
 - 電話アプリが起動し、発信できます。
- ②
 - サブメニューを表示します。
 - 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。
- ③
 - 写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
 - シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。
- ④
 - タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。
- ⑤ **メッセージ入力欄**
 - メッセージを入力することができます。
- ⑥
 - スタンプ選択画面に切り替えます。
- ⑦
 - 入力したメッセージを送信します。
- ⑧ **Aa**
 - テキスト入力画面に切り替えます。
- ⑨
 - 画像選択画面に切り替えます。
- ⑩
 - 音声録音画面に切り替えます。
- ⑪
 - 地図画面に切り替えます。
- ⑫
 - 連絡先/スケッチ/ファイル共有が選択できます。
- ⑬ **配信状態**
 - メッセージの配信状態を表示します。
 - ✓ : 相手がメッセージを閲覧済み
 - 送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。

- ✓ : 相手が端末にメッセージを受信済み (アイコン表示なし) : サーバにメッセージを送信済み
- ✗ : メッセージ送信に失敗

ショートメッセージサービス (SMS) についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「✳」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184/186を付与した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります (初期設定は「オフ」に設定されています)。また、本端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先/送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

- ① ホーム画面で[+メッセージ]
- ② 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ 読みたいメッセージのスレッドを選択
 - メッセージを返信する際に使用する各機能について →P.42

メッセージを転送する

- ① ホーム画面で[+メッセージ]
- ② 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ スレッドを選択
- ③ 転送するメッセージをロングタッチ ▶ ▶ [転送]
- ④ 宛先を選択 ▶ メッセージを入力 ▶

メッセージを削除する

- ① ホーム画面で[+メッセージ]
- ② 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ スレッドを選択
- ③ 削除するメッセージをロングタッチ ▶ ▶ [削除] ▶ [削除]
 - 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。

- 複数メッセージをロングタッチして選択すると、まとめて削除できます。その場合は、[削除] ▶ [削除] の順に操作してください。

スレッドを削除する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ 削除するスレッドをロングタッチ
- 3 [削除] ▶ [削除]
 - グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[マイページ] ▶ [設定]

メッセージ	メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定ができます。
写真や動画	送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知	通知に関する設定ができます。
プライバシー	パスコードやブロックなどが設定できます。
その他	ユーザー情報引き継ぎの設定や+メッセージサービスの初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[公式アカウント]
- 3 「公式アカウントストア」画面にて利用したいアカウントをタップ
- 4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」のチェックボックスにチェックを入れる
- 5 [利用する]

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Google アカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

Gmailを表示する

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Gmail]
 - メッセージスレッドの一覧が表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、[☰] ▶ [ヘルプとフィードバック] と操作してGmailのヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 エリアメールを受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴る
 - ステータスバーにアイコンが表示されます。
- 3 エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールを後で確認する

- 1 ホーム画面で[☰] ▶ [ツール] ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」] ▶ [エリアメール]
- 3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

エリアメールを削除する

- 削除したエリアメールは元には戻せません。

- 1 ホーム画面で[☰] ▶ [ツール] ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」] ▶ [エリアメール]
- 3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ ▶ [削除] ▶ [削除]

ウェブブラウザ



ウェブブラウザを利用して、パケット通信やWi-Fi機能による接続で、パソコンと同じようにインターネットのウェブサイトを開覧できます。

ウェブサイトを表示する

- 1 ホーム画面で[🌐]
 - ウェブサイトが表示されます。

ウェブサイト表示中の基本操作


- 次の操作でウェブサイトを閲覧できます（ウェブサイトによっては操作できない場合があります）。

- タップ：リンクやボタンを選択・実行できます。
- スライド／フリック：ページをスクロールできます。
- スームイン／アウト：ページを拡大／縮小できます。
- 前のページに戻るには画面を左右にスライドします。
- ウェブサイト内のテキストをコピーする場合は、テキストをロングタッチ▶「」／「」をドラッグしてテキストの範囲を選択▶「コピー」▶「貼り付け」の入力欄をロングタッチ▶「貼り付け」と操作します。

URLや検索する語句を入力してウェブサイトを表示する

1 ウェブサイト表示中に画面上部のURL表示欄をタップ

2 ウェブサイトのアドレスまたは検索する語句を入力▶「」

- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。
- 「」をタップすると、ホームページに設定されているページに戻ります。

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブサイトの閲覧ができます。

1 ウェブサイト表示中に「」▶「新しいタブ」

- ウェブサイトが表示されます。

タブを切り替える

1 ウェブサイト表示中に「」

- 数字のアイコンは開いているタブの件数です。使用状況により表示が異なります。

2 表示するタブを選択

タブを閉じる

1 ウェブサイト表示中に「」

- 数字のアイコンは開いているタブの件数です。使用状況により表示が異なります。

2 閉じるタブの右上の「」をタップ



- 閉じるタブを左または右にスライドしても閉じることができます。

シークレットタブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにウェブサイトを表示できます。

1 ウェブサイト表示中に「」▶「新しいシークレットタブ」

2 ウェブサイトを表示する


- シークレットタブを閉じる場合は、ウェブサイト表示中に「」▶「」と操作します。
- 数字のアイコンは開いているタブの件数です。使用状況により表示が異なります。

ウェブブラウザの設定を変更する

1 ホーム画面で「」

2 「」▶「設定」

同期を有効にする	同期を有効に設定します。
Googleのサービス	Googleのサービスを設定します。

検索エンジン	検索エンジンを設定します。
パスワードマネージャー	ウェブサイトに入力したパスワードを保存するかどうかなどを設定します。
お支払い方法	お支払い方法の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用するクレジットカード情報を設定します。
住所やその他の情報	住所などの情報の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用する住所や名前、電話番号、メールアドレスなどの情報を保存します。
プライバシーとセキュリティ	お支払い方法へのアクセスやページのプリロードなどを設定したり、閲覧履歴データを削除します。
安全確認	データ侵害や安全ではないウェブサイトなどの脅威から保護できているかどうかを確認します。
通知	Chromeの通知方法を設定します。
テーマ	Chromeのテーマを設定します。
トップページ	「  」をタップしたときに表示されるページについて設定します。
ユーザー補助機能	文字のサイズやズームなどを設定します。
サイトの設定	CookieやJavaScriptなどサイトに関する設定をします。
言語	設定した言語でウェブサイトのテキストを表示します。 • ウェブサイトによっては設定した言語で表示されない場合があります。
ダウンロード	ダウンロード時の保存場所などを設定します。
Chromeについて	Chromeのバージョンなどを確認できます。

ブックマーク／履歴を利用する

登録したブックマークや履歴を利用してウェブサイトを表示します。

ブックマークに登録する

表示中のウェブサイトをブックマークに登録します。

1 ホーム画面で「」

2 ブックマークに登録するウェブサイトを表示する

3 「」▶「」

ブックマークからウェブサイトを表示する

1 ホーム画面で「」

2 「」▶「ブックマーク」

- ブックマーク画面が表示されます。

3 表示したいウェブサイトを選択

履歴からウェブサイトを表示する

1 ホーム画面で「」

2 「」▶「履歴」

- 履歴画面が表示されます。

3 表示したいウェブサイトを選択

ブックマーク／履歴画面のメニューを利用する

ブックマーク／履歴画面では、ブックマーク／履歴の編集や削除などの操作が行えます。画面の指示に従って操作してください。

カメラ

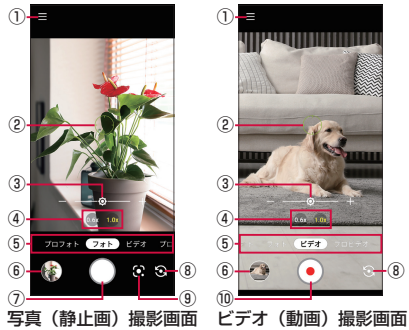
カメラをご利用になる前に

本端末はアウトカメラとインカメラで静止画や動画の撮影ができます。

撮影した静止画や動画は、すべてmicroSDカードまたは内部ストレージに保存されます。

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 手振れにご注意ください。画像が振れる原因となりますので、本端末が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手振れが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合も振れた画像になりやすいためご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像が振れる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・ 無地の壁などコントラストが少くない被写体
 - ・ 強い逆光のもとにある被写体
 - ・ 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・ カメラからの距離が異なる被写体がいっつもあるとき
 - ・ 暗い場所にある被写体
 - ・ 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいをご起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本端末を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本端末が落下するおそれがあります。
- 本端末を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本端末のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。
- 極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

撮影画面の見かた



- ① メニュー
 - カメラの設定メニューが表示されます（→P.48）。
- ② フォーカス枠
 - 被写体をタップすると、タップした場所にフォーカスが合い、フォーカス枠が表示されます。
- ③ 明るさ調整バー
 - 画面をタップすると一定時間表示されます。調整バーを左右にドラッグして、明るさを調整することができます。
- ④ ズーム倍率
 - 倍率表示をタップしてズーム倍率を調整できます。選択されている倍率（黄色文字で表示）を再度タップすると調整バーが表示され、調整バーを左右にドラッグすることで細かく倍率を調整できます。また、撮影画面をピンチアウト／ピンチインしてもズーム倍率を調整できます。
- ⑤ 撮影モード
 - タップまたはスライドして、撮影モードを切り替えます。
- ⑥ 直前に撮影／録画したデータ
 - 直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます。
- ⑦ 撮影（シャッター）
- ⑧ イン／アウトカメラ切替
- ⑨ Google レンズ
 - かざしたテキストを操作したり、周囲のものに関する情報を見たり、植物や動物の名前や種類を確認することができます。
- ⑩ 録画／停止
 - 動画の撮影を開始／停止します。

お知らせ

- 撮影画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。

静止画の撮影

- ① ホーム画面で[カメラ]
- ② [フォト]
 - 画面を左右にスライドしても、切り替えることができます。
- ③ 画面をタップ
 - タップしたところにピントが合います。
 - 撮影画面をロングタッチするとフォーカスロックされます。
- ④ [○]
 - 撮影したデータは自動的に保存されます。
 - 「○」をロングタッチすると、連写撮影をすることができます。

お知らせ

- 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニユアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。

動画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [ビデオ]

- 画面を左右にスライドしても、切り替えることができません。

3 [●]

- 録画が開始されます。
- 録画中に「○」をタップすると、静止画を撮影できます。

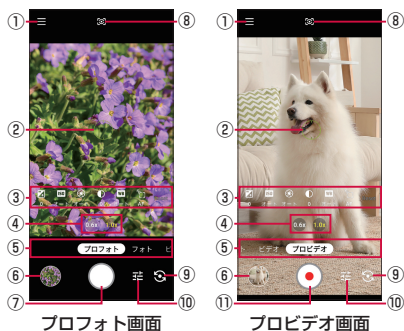
4 [○]

- 録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

お知らせ

- 録画中は、送話口/マイクを指などでふさがないようにしてください。

プロフォト/プロビデオ画面の見かた



1 メニュー

- カメラの設定メニューが表示されます (→P.48)。

2 フォーカス枠

- 被写体をタップすると、タップした場所にフォーカスが合い、フォーカス枠が表示されます。

3 設定項目

- 項目をタップして、各設定値を変更できます。

: 明るさを設定します。

: ISO感度を設定します。

: シャッタースピードを設定します。

: コントラストの強弱を設定します。

: ホワイトバランスを設定します。

: フォーカスを調整します。

Reset : 設定をお買い上げ時の状態に戻します。

4 ズーム倍率

- 倍率表示をタップしてズーム倍率を調整できます。選択されている倍率 (黄色文字で表示) を再度タップすると調整バーが表示され、調整バーを左右にドラッグすることで細かく倍率を調整できます。また、撮影画面をピンチアウト/ピンチインしてもズーム倍率を調整できます。

5 撮影モード

- タップまたはスライドして、撮影モードを切り替えます。

6 直前に撮影/録画したデータ

- 直前に撮影/録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます。

7 撮影 (シャッター)

8 測光モード

- 「中央重点」 / 「平均」 / 「スポット」 から設定します。

9 イン/アウトカメラ切替

10 設定項目の表示/非表示

11 録画/停止

- 動画の撮影を開始/停止します。

お知らせ

- 撮影画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。

プロフォト/プロビデオの撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [プロフォト]/[プロビデオ]

- 画面を左右にスライドしても、切り替えることができません。

3 各項目を設定

4 [○]/[●]

- 撮影したデータは自動的に保存されます。
- 「プロビデオ」の場合は、撮影が終わったら「●」をタップして録画を停止してください。

カメラの設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [≡]

アスペクト比	アスペクト比を選択します。
解像度	動画の解像度を選択します。
フラッシュ	撮影ライトの点灯方法を設定します。
セルフタイマー	静止画撮影のセルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 <ul style="list-style-type: none">● カウントダウン中はカウントダウン音が鳴動し、撮影ライトが点滅します。
詳細設定	カメラの詳細設定については→P.48

※ 設定の状況により、表示される項目や配置が異なる場合があります。

お知らせ

- 静止画を撮影する場合、アウトカメラとインカメラで撮影できるサイズが異なります。撮影できるサイズは次の通りです。
 - アウトカメラ: 約1600万画素CMOS (ワイド撮影切替可能)
 - インカメラ: 約800万画素CMOS

カメラの詳細設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [≡] ▶ [詳細設定]

オートHDR	露出レベルの異なる複数枚の写真を1枚の写真に合成することで、白飛びや黒つぶれを防いだ画像を撮影することができます。
手振れ補正	手振れ補正の設定を切り替えます。
録画フォーマット	動画の録画フォーマットを選択します。
録音方式	動画の録音方式を選択します。
ミュート	音声なしで動画を撮影できます。
風切り音低減	動画撮影中に発生する風切り音を低減できます。
録画中割り込み防止	動画撮影中は通知による音とバイブレーションが撮影内容に入らないようにすることができます。
連写	静止画撮影のときに、シャッターを長く押すと連写撮影するように設定します。
保存先	保存先を設定します。
位置情報付加	設定後に撮影したすべての静止画／動画に位置情報を付加します。
モード保持	前回終了時のモードで起動できます。
音量ボタン	(音量上ボタン) / (音量下ボタン) に割り当てる機能を設定します。
クイックSNS	撮影画面で上方向にスライドすると、設定したアプリに最新の撮影データを連携できます。
水準器	水準器を表示するかどうかを設定します。
撮影補助ライン	撮影補助ラインを表示するかどうかを設定します。
QRコード読み取り	静止画撮影画面で自動的にQRコード(バーコード)を認識し、読み取るかどうかを設定します。
レンズ歪み補正	撮影時の歪みを補正するかどうかを設定します。
テーマ選択	カメラアプリのテーマを「ライト」／「ダーク」／「システムのデフォルト」から選択します。
カメラ機能ガイド	カメラの機能について確認できます。
初期設定に戻す	カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※設定の状況により、表示される項目や配置が異なる場合があります。

バーコードスキャナー

バーコードやQRコードを連続して読み取ったり、複数まとめて読み取ることができます。また、データを読み取ると、連携したアプリを自動で起動することもできます。

バーコードスキャナーをご利用になる前に

- 一般的な利用環境にて動作確認を実施しておりますが、暗所やコードのタイプ・サイズなどの利用環境によって、正しく読み取れない(誤読、認識できない)可能性があります。また、コードの汚れや欠け、湾曲、反射などによって也正しく読み取れない場合がありますので、使用の際は事前に十分な確認をお願いします。
- カメラを使用しますので、レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な画像が取得できなくなり、性能が劣化する要因と

なります。使用する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。

- より高性能なスキャン機能が必要とされる場合は、別オプション(推奨アプリケーション)のご紹介をいたします。お客様相談室(0120-500-349)へお問い合わせください。※オプション利用には別途使用料が発生します。

バーコードを読み取る

- ホーム画面で ▶ [バーコードスキャナー]
 - 読み取り画面が表示されます。
 - 設定画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
 - お買い上げ時の設定では (ダイレクトボタン左) / (ダイレクトボタン右) を押してもバーコードスキャナーを起動できます。
- 本端末のアウトカメラを読み取りたいバーコード／QRコードに向ける
 - 「かざすだけスキャン」がONの場合は、読み取りが完了し、連携したアプリが起動します。
 - あらかじめ「アプリ連携」の設定で連携するアプリの設定をしてください。
 - 「かざすだけスキャン」がOFFの場合は、「読み取りボタン表示」をONにして、「」をタップしてください。

お知らせ

- 「かざすだけスキャン」をONにする場合は、読み取り画面で ▶ 「かざすだけスキャン」をONにしてください。

バーコードスキャナーの設定

- ホーム画面で ▶ [バーコードスキャナー]
-

マルチスキャン	シングルスキャンとマルチスキャンを切り替えます。
連続読み取り	複数のデータを連続して読み取るかどうかを設定します。
かざすだけスキャン	端末のアウトカメラを向けるだけで、自動でデータを読み取るかどうかを設定します。
バーコードの種類	読み取るデータのフォーマットを設定します。
アプリ連携	連携するアプリを設定します。
通知音の音量	データを読み取ったときの通知音の音量を設定します。
バイブ通知	データを読み取ったとき、バイブレーションを動作させるかどうかを設定します。
エイマー表示	読み取り範囲と画面中央にラインを表示させるかどうかを設定します。
読み取りボタン表示	読み取り画面に を表示させるかどうかを設定します。
QRコード連携	QRコード読み取り時、読み取り内容に合ったアプリを起動するかどうかを設定します。
自動連携	データ読み取り時、「アプリ連携」で設定したアプリを起動するかどうかを設定します。
重複読み取り	同じデータを読み取るようにするかどうかを設定します。

重複確認	同じデータを読み取った際、確認画面を表示させるかどうかを設定します。
データ保存	読み取ったデータを保存するかどうかを設定します。
保存データ形式	保存データの形式を設定します。
データファイル名のprefix	保存データのファイル名の冒頭に、設定した語句を付与します。
データファイル名のsuffix	保存データのファイル名の末尾に、設定した語句を付与します。
データのprefix	読み取ったデータの冒頭に、設定した語句を付与します。
データのsuffix	読み取ったデータの末尾に、設定した語句を付与します。
タブキー付加	読み取ったデータの末尾に、タブキーを付与します。
エンターキー付加	読み取ったデータの末尾に、エンターキーを付与します。
機能ガイド	バーコードスキャナーの機能について確認できます。
初期設定に戻す	バーコードスキャナーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

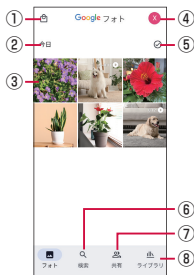
※設定の状況により、表示される項目や配置が異なる場合があります。

フォト

内部ストレージ／microSDカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。

写真や動画を表示する

1 ホーム画面で[フォト]



① 写真プリント

- 写真プリントの注文ができます。

② データ作成時期

③ 保存データ

④ アカウントメニュー

- Google アカウントの管理、「フォト」アプリの設定、ヘルプやプライバシーポリシー、利用規約の確認などができます。

⑤ すべて選択

⑥ 写真を検索

⑦ 共有

- 共有パートナーアカウントの設定や、共有された写真の確認ができます。

⑧ ライブラリ

- アルバムやアーカイブしたデータの閲覧などができません。

2 データを選択

- データが表示されます。
- 表示中のデータをタップすると、共有や削除などのメニューが表示されます。

お知らせ

- 「フォト」アプリで表示されるデータの中には、再生できないものもあります。
- 「フォト」アプリについて詳しくは、フォト画面右上のアカウントアイコンをタップ▶[ヘルプとフィードバック]▶[ヘルプ] と操作してヘルプをご覧ください。

写真や動画を削除する

1 ホーム画面で[フォト]

2 削除するデータをロングタッチ

- 左上にチェックマークがついていることを確認します。
- 他のデータも削除する場合は削除するデータをタップしてチェックマークを付けます。

3 [削除]▶[ゴミ箱に移動]

- 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

アプリ

dメニュー

dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。

① ホーム画面で[dメニュー]

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。
- ご利用時には、「サイトご利用にあたって」をご確認ください。
<https://smt.docomo.ne.jp/portal/src/terms.html>

Play ストア

Google Playを利用して、便利なアプリや楽しいゲームを本端末にダウンロード、インストールできます。

- Google Playの利用にはGoogle アカウントの設定が必要です(→P.68)。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play画面右上のアカウントアイコンをタップして「ヘルプとフィードバック」からGoogle Playのヘルプをご覧ください。
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリをインストールする

① ホーム画面で[Play ストア]

- Google Play画面が表示されます。

② アプリを検索▶インストールするアプリを選択

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリをアンインストールする

① ホーム画面で[Play ストア]

- Google Play画面が表示されます。

② Google Play画面右上のアカウントアイコンをタップ

- Google アカウントメニューが表示されます。

③ [アプリとデバイスの管理]▶[管理]

④ アンインストールするアプリをタップ▶[アンインストール]▶[アンインストール]

- 有料アプリをアンインストールする場合は、画面の指示に従って操作してください。詳しくはGoogle Playのヘルプをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に、おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。


電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
 - 本端末の故障により、ICカード内データ*が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
 - 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- ※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用方法

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。

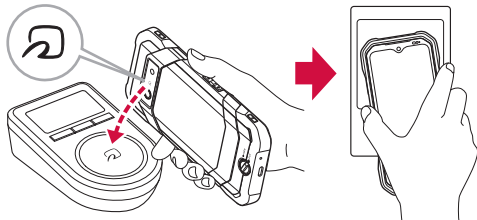
- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [ツール] ▶ [おサイフケータイ]
 - 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 2 サービスを選択
- 3 サービスに関する設定をする
 - サービスのアプリまたはサイトから設定してください。
- 4 端末の  マークを読み取り機にかざす




お知らせ

- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなる場合があります。
- 本端末の「バッテリーセーバー」(→P.61) や「データセーバー」(→P.60) の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



-  マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
-  マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
-  マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイの機能をONにする


- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]
- 2 [NFC／おサイフケータイ] ▶ [NFC／おサイフケータイ] をONにする
 - NFC／おサイフケータイ機能がONになり、おサイフケータイ対応サービスのすべてが利用できます。

NFC／おサイフケータイの機能をロックする

画面ロック中にNFC／おサイフケータイ機能をOFFに設定します。

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]
- 2 [NFC／おサイフケータイ] ▶ [NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFF] をONにする

非接触型決済を利用する

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]
- 2 [NFC／おサイフケータイ] ▶ [非接触型決済]
- 3 [デフォルトの決済アプリ] ▶ アプリを選択 ▶ [←]
- 4 [デフォルトの決済アプリを使用する] ▶ [常時] / [別の決済アプリが起動されている場合を除く]
- 5 本端末の  マークを非接触型決済マークのある読み取り機にかざす

お知らせ

- あらかじめNFC／おサイフケータイ機能をONに設定してください(→P.52)。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iD アプリ等で設定を行う必要があります。発行の方法、ご利用にかかる費用等については、各カード会社にお問い合わせください。
- iDに関する情報については、iDのホームページ (<https://id-credit.com/>) をご覧ください。

ラジオ

radiko+FMを利用する

今いるエリアで放送しているラジオ番組をインターネット経由で聴くことができます。

また、市販のイヤホンを本端末のイヤホンマイク端子に接続することで、FMラジオ放送を受信することもできます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [radiko+FM]
 - インターネットラジオの放送局一覧画面が表示されます。
- 2 放送局を選択

FMラジオ放送を受信する

FMラジオ放送を受信するには、市販のイヤホンを本端末のイヤホンマイク端子に接続する必要があります。

- 1 放送局一覧画面 ▶ [田] ▶ [FMチューナー]
- 2 [田] ▶ [放送局を選択してください] ▶ 放送局を選択 ▶ 本局または中継局を選択 ▶ [閉じる]
- 3 [▶]

お知らせ

- インターネットラジオの詳細については、[田] ▶ [ヘルプ]と操作してご確認ください。
- FMラジオ放送を受信するには、市販のイヤホンがアンテナとなります。
- FMラジオ放送は屋内や乗り物の中では電波を受信しにくいことがあります。できるだけ窓際で使用した方が受信しやすくなります。

位置情報サービスについて

GPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の表示や目的地までのルート検索などを行うことができます。

GPS機能

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。
- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは、米国防務省により運営されているため、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。

● 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かぼんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人やもの）がある場合

GPS機能/位置情報サービスをONにする

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [位置情報] ▶ 「位置情報を使用」をONにする ▶ [OK]

Google マップを使用する

Google マップで現在地の表示や場所の検索、経路の検索などことができます。

- Google マップを利用するには、ネットワークに接続されていることをご確認ください（→P.30）。
 - Google マップは、すべての国・地域を対象としているわけではありません。
- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [マップ]
 - Google マップについて詳しくは、マップ画面右上のアカウントアイコンをタップ ▶ [ヘルプとフィードバック] ▶ [ヘルプ]と操作してヘルプをご覧ください。

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチなどを利用できます。


アラームを設定する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [時計] ▶ [アラーム]
- 2 [●]
- 3 時刻を設定 ▶ [OK]
 - 設定済みのアラームを編集する場合は、編集するアラームをタップし、変更する項目を選択します。
- 4 詳細を設定

ラベルを追加	ラベルの名称を設定します。
曜日	アラームの繰り返しを曜日で指定します。
アラームの設定	アラームを鳴動する日付を設定します。
アラームの音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
Google アシスタントのルーティン	Google アシスタントルーティンを利用するかどうかを設定します。
削除	アラームを削除します。


お知らせ

- アラームを設定した時刻になると、アラーム音やバイブレータが鳴動し、ラベル名が表示されます。
- 通話中にアラームが起動した場合、受話口／スピーカーからアラームを知らせる割込音が鳴ります。
- 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。
- アラームをOFFにするには、「」をタップします。


アラームを止める

- 1 アラーム鳴動中に「」を「ストップ」までドラッグ
- アラームが停止します。

お知らせ

- 「」を「スヌーズ」までドラッグすると、設定した時間の経過後に、再度アラームが鳴ります（スヌーズ）。
- 画面の点灯時（ロック画面を除く）は「スヌーズ」／「ストップ」をタップして操作します。

アラームを削除する

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [時計] ▶ [アラーム]
- 2 削除するアラームの「」▶ [削除]

世界時計を利用する

複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。



- 1 ホーム画面 ▶ [Google] ▶ [時計] ▶ [時計] ▶ 
- 2 都市名を入力 ▶ 一覧から都市を選択

お知らせ





- 追加した都市を左右にスライドすると、都市を削除できます。

タイマーを利用する



指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [時計] ▶ [タイマー]
 - 2 時間を入力 ▶ 
- カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「」をタップするとタイマー音は止まります。





お知らせ

- 「+1:00」をタップすると、時間を1分追加します。
- カウントダウンを一時停止する場合は「」をタップし、再開する場合は「」をタップします。「」をタップすると、カウントダウンをリセットします。
- 「」をタップすると、タイマーを削除します。

ストップウォッチを利用する

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [時計] ▶ [ストップウォッチ]
 - 2 
- ストップウォッチ画面が表示されます。
- 1 
- 時間計測が始まります。

お知らせ


- 計測を一時停止する場合は「」をタップし、再開する場合は「」をタップします。「」をタップすると、計測をリセットします。
- ラップタイムを計測する場合は、「」をタップします。



おやすみ時間を利用する

睡眠中や起床時の本端末の動作を設定したり、睡眠前に心地よいサウンドを再生したりするなど、快適な睡眠をサポートする設定ができます。

- 1 [Google] ▶ [時計] ▶ [おやすみ時間]
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

時計の設定

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [時計] ▶ [アラーム]／[時計]／[タイマー]／[ストップウォッチ]／[おやすみ時間]
- 2  ▶ [設定]

スタイル	時計のスタイルを「デジタル」／「アナログ」から選択します。
時刻に秒を表示	秒数を表示するかどうかを設定します。
自宅の時計を自動表示	時差のある場所にいるとき、自宅に設定している時刻との時差を表示するかどうかを設定します。
自宅タイムゾーン	自宅の時刻を設定します。
日付と時刻の変更	日付と時刻については→P.69
消音までの時間	アラームの鳴動が停止するまでの時間を設定します。
スヌーズの長さ	「スヌーズ」にしたアラームが、再度鳴動するまでの時間を設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
徐々に音量を上げる	アラームの音量を徐々に上げるかどうかを設定します。
音量ボタン	 （音量上ボタン）／  （音量下ボタン）に割り当てる機能を設定します。
週の始まり	週の始まりとする曜日を設定します。
タイマーの音	タイマーの音を設定します。
徐々に音量を上げる	タイマーの音量を徐々に上げるかどうかを設定します。
タイマーのバイブレーション	タイマー鳴動時、バイブレータを動作させるかどうかを設定します。
スタイル	スクリーンセーバーの時計のスタイルを「デジタル」／「アナログ」から選択します。
夜間モード	スクリーンセーバー設定時の画面の明るさを設定します。

スケジュール

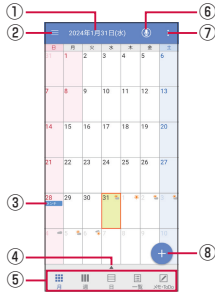
スケジュールを利用する

カレンダーを表示したり、スケジュールを登録したりすることができます。

① ホーム画面で【田】▶【ツール】▶【スケジュール】

- スケジュール画面が表示されます。

② スケジュールを確認する



① 選択している日付、祝日名

② 設定メニュー

- 設定メニューやヘルプなどを表示します。

③ 登録されているスケジュール

④ セラレータ

- タップすると選択している日付のスケジュールを表示します。また、ToDoを設定したスケジュールやメモがある場合、未完了のToDoも表示されます。

⑤ 表示切替

- 月表示、週表示などスケジュールの表示を切り替えます。

⑥ 音声入力

- 音声入力でmy daizを利用できます。

⑦ 日付移動

- 日付の移動やクラウドと同期などを行います。

⑧ 新規作成

スケジュールの設定

① スケジュール画面▶【田】

② 【設定】

アラーム	アラームについて設定します。
起動画面	スケジュールを起動したときの表示方法を設定します。
開始曜日	カレンダーの開始曜日を設定します。
ラベル表示	登録されているスケジュールのラベルを月表示や週表示でも表示するか設定します。
タイトル設定	スケジュールを作成するとき、選択したラベルのアイコンに合わせて自動的に入力するタイトルを設定します。
誕生日表示設定	電話帳に登録されている誕生日をスケジュールに表示するか設定します。
誕生日色設定	誕生日の表示色を設定します。
週間天気表示設定	一週間の天気をスケジュールに表示するか設定します。

クラウド設定	クラウドを利用するかどうかを設定します。
海外利用設定	本端末が海外にあると判断された場合に通信を伴う機能を制限するかどうかを設定します。
祝日データ更新	最新の祝日データをスケジュールに反映します。
アプリ内データ全件削除	「スケジュール」アプリ／「メモ」アプリのデータをすべて削除します。「削除実行」をタップして削除する前に表示される内容をご確認ください。

スケジュールを作成する

① スケジュール画面▶【+】

② 必要な項目を入力▶【保存】

スケジュールを削除する

① スケジュール画面▶日を選択

② 削除するスケジュールをロングタッチ

③ [1件削除]▶【削除する】

メモ

メモを作成・管理できるアプリです。

メモを利用する

① ホーム画面で【田】▶【ツール】▶【メモ】

② 【+】

③ メモを入力▶【保存】

電卓

電卓を利用する

電卓を利用できます。

① ホーム画面で【Google】▶【電卓】

- 電卓画面が表示されます。
 - 「AC」：計算結果を消去します。
 - 「X」：最後に入力した数字／記号を消去します。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご活用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoおよび本体のアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

① ホーム画面で[田] ▶ [ツール] ▶ [データコピー] ▶ [データ移行]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

●バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。

●名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。

●本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。

●本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

●バッテリーセーバーがONの場合などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

① ホーム画面で[田] ▶ [ツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]

② [バックアップ] ▶ [バックアップ開始] ▶ [開始する]

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

③ [トップに戻る]

復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

① ホーム画面で[田] ▶ [ツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]

② [復元] ▶ [次へ] ▶ [復元開始] ▶ [開始する]

- 選択したデータが本端末に復元されます。

③ [トップに戻る]

- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Google アカウントおよび本体に登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

① ホーム画面で[田] ▶ [ツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]

② [電話帳アカウントコピー] ▶ コピーする電話帳の[選択] ▶ [上書き] / [追加]

- コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。

③ [OK]

本体設定

設定メニュー

設定メニューから、本端末の各種設定を行うことができます。
● 設定の状況により、表示される項目や配置が異なる場合があります。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定]

ネットワークとインターネット	ネットワークとインターネットについては→P.57
接続済みのデバイス	接続済みのデバイスについては→P.60
アプリ	アプリについては→P.60
通知	通知については→P.61
バッテリー	バッテリーについては→P.61
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンについては→P.27
ストレージ	ストレージについては→P.62
着信音とバイブレーション	着信音とバイブレーションについては→P.62
ディスプレイ	ディスプレイについては→P.62
壁紙とスタイル	壁紙とスタイルについては→P.63
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
ユーザー補助	ユーザー補助については→P.63
セキュリティ	セキュリティについては→P.64
プライバシー	プライバシーについては→P.66
位置情報	位置情報については→P.67
緊急情報と緊急通報	緊急情報と緊急通報については→P.67
ドコモのサービス/クラウド	ドコモのサービス/クラウドについては→P.67
パスワードとアカウント	パスワードとアカウントについては→P.68
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	Digital Wellbeing と保護者による使用制限については→P.68
Google	Googleについては→P.68
システム	システムについては→P.68
デバイス情報	デバイス情報については→P.69

お知らせ

- 設定画面の上部に表示される「設定を検索」をタップして、設定項目を検索できます。

ネットワークとインターネット

Wi-Fiやホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行うことができます。


1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット]

インターネット	モバイルネットワークの確認やWi-Fiの設定などができます。 インターネットについては→P.57 Wi-Fiについては→P.57
SIM	SIMについては→P.58

機内モード	機内モードについては→P.59
デュアルSIM設定	デュアルSIMの利用時にモバイルデータ、通話、SMSメッセージで優先して使用するSIMの設定などができます。
テザリング	テザリングについては→P.59
データセーバー	データセーバーについては→P.60
VPN	VPNについては→P.60
プライベートDNS	プライベートDNSに関する設定を行います。
接続の自動調整	ネットワーク接続を自動的に管理することで、バッテリーを長持ちさせたり、デバイスのパフォーマンスを改善します。

インターネット

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [インターネット]

- 利用できるモバイルネットワーク (SIM) とWi-Fiの設定画面が表示されます。
- モバイルネットワーク (SIM) をタップすると、モバイルネットワークの接続に切り替えます。
- モバイルネットワーク (SIM) の右の「」をタップすると、モバイルネットワーク (SIM) に関する設定/確認ができます (→P.58)。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機器は同一周波数 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
- 本端末とBluetooth機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [インターネット]


2 「Wi-Fi」をONにする

3 アクセスポイントを選択

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード (セキュリティキー) を入力し、「接続」をタップしてください。
- アクセスポイントを手動で登録: [ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを設定 ▶ [保存]
- アクセスポイントをQRコードで登録: 「ネットワークを追加」の [QR] ▶ 本端末のカメラにWi-FiネットワークのQRコードを映す

お知らせ

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にできない場合があります。

- Wi-FiがONのときでもパケット通信を利用できます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまま利用すると、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、OFFにすることで電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようにご注意ください。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、が表示され、Wi-Fiネットワークではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [インターネット]

2 [ネットワーク設定]

Wi-Fi を自動的に ON にする	高品質な保存済みWi-Fiネットワークを検出したときに、自動的にWi-FiをONにして接続するかどうかを設定します。 ONにするには、位置情報の設定をONにする必要があります。
利用可能なパブリックネットワークを通知する	高品質の公共ネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
証明書をインストール	証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directについては→P.58
高度なWi-Fi設定	スキャンの間隔、ハンドオーバー閾値、モバイルネットワークへの自動切り替えなどの設定をします。

Wi-Fi Direct

アクセスポイントやインターネットを利用せずに、他のWi-Fi Direct規格対応機器とWi-Fi機能で接続できます。

- Wi-FiをONにしている場合に利用できます。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [インターネット]

2 [ネットワーク設定] ▶ [Wi-Fi Direct]

- 以降は画面に従って操作してください。

アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [インターネット]

2 接続しているアクセスポイントを選択 ▶ [削除]

SIM

通話モードやアクセスポイントなどの設定をします。

- SIMの右の「+」をタップすると、eSIMの設定ができます。eSIMの設定については「eSIMのSIM情報を設定する」を参照ください(→P.58)。

- nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット]

2 [SIM]

3 「SIM を使用」をONにする

XXMB 使用	モバイルネットワーク経由のデータ使用量などが表示されます。
通話の設定	通話の発信に使用するSIMを設定できます。
SMS の設定	SMSの送信に使用するSIMを設定できます。
モバイルデータ	モバイルネットワーク経由でデータにアクセスするかどうかを設定します。
データローミング	データローミングについては→P.74
アプリのデータ使用量	モバイルネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示したり、モバイルネットワークを使用したアプリを確認したりできます。
データ使用量の警告と制限	データ使用量の警告と制限については→P.58
優先ネットワークの種類	優先ネットワークの種類については→P.74
ネットワークを自動的に選択	ネットワークを自動的に選択については→P.74
ネットワークを選択	「ネットワークを自動的に選択」をOFFに設定しているとき、利用可能なネットワークを検索します。
アクセスポイント名	アクセスポイントの設定や確認をします。

お知らせ

- SIMの設定画面で「✍」をタップすると、SIMの名前と色の確認/編集ができます。

eSIMのSIM情報を設定する

初めてeSIMを利用するときは、通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定する必要があります。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ SIMの右の「+」

2 [SIM をダウンロードしますか?] ▶ [次へ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

データ使用量の警告と制限

モバイルネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量などを設定します。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM]

2 [データ使用量の警告と制限]

モバイルデータの使用サイクル	モバイルデータ使用量の使用サイクルのリセット日を設定します。
データ使用量を警告	モバイルデータ使用量が指定した警告値に達したとき、警告の通知を表示するかどうかを設定します。
警告するデータ使用量	モバイルデータ使用量の警告値を設定します。
データ使用量を制限	モバイルデータ使用量が指定した上限値に達したとき、モバイルデータ通信を一時的に停止するかどうかを設定します。

データ上限	モバイルデータ使用量の上限値を設定します。
-------	-----------------------

お知らせ

- データ使用量が「データ上限」に達し、データ通信が利用できなくなった場合は、データ使用量の警告と制限画面で「データ使用量を制限」をOFFにしたり、「データ上限」で上限のサイズを変更したりすると、データ通信を再開できます。また、「データの一時停止」と表示された場合は、「再開」をタップすると、データ通信を再開できます。

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント (docomo) は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

■ 利用中のアクセスポイントを確認

- 1 ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM] ▶ [アクセスポイント名]

■ アクセスポイントを追加で設定<新しいAPN>

- 1 ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM] ▶ [アクセスポイント名]
- 2 [+]
- アクセスポイントを編集する場合は、編集するアクセスポイントをタップします。
- 3 [名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ [OK]
- 4 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]
- 5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [OK]
 - MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 6 [::] ▶ [保存]

お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM] ▶ [アクセスポイント名]
- 2 [::] ▶ [初期設定にリセット]

機内モード

電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。

- 1 ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット]
- 2 「機内モード」をONにする

お知らせ

機内モードについて

- 「SIMカードをロック」が有効の場合は、緊急通報番号 (110番、119番、118番) に発信できません。「SIMカードをロック」が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号 (110番、119番、118番) に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、「機内モード」がOFFになり、発信を行います。
- 「機内モード」がONの場合でも、「Wi-Fi」や「Bluetooth」、「NFC/おサイフケータイ」の機能をONにすることができます。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、Wi-Fi対応機器15台、USBケーブルで接続したパソコン1台、Bluetooth機器4台の計20台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください (→P.71)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- 1 ホーム画面で [⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット]
- 2 [テザリング]

Wi-Fiテザリング	Wi-Fiテザリングを利用するかどうかとアクセスポイント名やセキュリティなどの設定をします。
USB テザリング	USBテザリングを利用するか設定します。
Bluetooth テザリング	Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

お知らせ

USB テザリングについて

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 10、Windows 11の場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末のストレージや取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。

データセーバー

アプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を制限し、データ使用量を抑制します。

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット]
- 2 [データセーバー]
- 3 「データセーバーを使用」をONにする

お知らせ

- 「データセーバーを使用」をONにした場合でも、「モバイルデータの無制限利用」で個別に設定したアプリについてはモバイルデータ通信を制限されず、使用できます。

VPN (仮想プライベートネットワーク)

VPN (Virtual Private Network) とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用いて、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

VPNの追加

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN]
- 2 [+]
- 3 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNを選択
- 3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN]
- 2 接続しているVPNを選択 ▶ [切断]

接続済みのデバイス

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス]

USB	USBケーブルでパソコンに接続しているときの動作を設定します。 ● 本端末をUSBケーブルでパソコンに接続しているときに表示されます。
新しいデバイスとペア設定	使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。 Bluetooth機能の利用については→P.71
保存済みのデバイス	以前ペアリングを行ったデバイス名が表示されます。
すべて表示	以前ペアリングを行ったすべてのデバイス名が表示されます。
接続の設定	接続の設定については→P.60

接続の設定

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス]
- 2 [接続の設定]

Bluetooth	Bluetooth機能については→P.71
NFC/おサイフケータイ	NFC/おサイフケータイの機能については→P.51
キャスト	Google Cast対応機種などと接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
印刷	デフォルトの印刷サービスを利用したプリンタの設定をしたり、印刷サービスをインストールすることができます。
Chromebook	Chromebookと接続します。
ニアバイシェア	近くにある他のデバイスとファイル共有します。
Android Auto	車の画面に接続し、車内でもアプリやGoogleサービスが使えるように設定できます。

アプリ

アプリごとに通知や権限、デフォルトアプリの設定などを行います。

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [アプリ]

最近開いたアプリ	最近開いたアプリ (アプリ情報) については→P.61
XX 個のアプリをすべて表示	XX 個のアプリをすべて表示 (アプリ情報) については→P.61
デフォルトのアプリ	デフォルトで使用するブラウザアプリやホームアプリ、電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。
利用時間	本端末の利用時間や、アプリの利用時間を表示します。
使用されていないアプリ	使用していないアプリを確認できます。

特別なアプリアクセス	本端末の機能や情報にアクセスするアプリなどの設定を確認／変更します。
------------	------------------------------------

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [アプリ]
- 2 [XX 個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選択

アプリの無効化／有効化

アプリの動作を停止し、アンインストールせずに起動させないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [アプリ]
- 2 [XX 個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選択
- 3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]
 - 有効化するには「有効にする」をタップします。

通知

通知の設定ができます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [通知]


アプリの設定	各アプリからの通知を設定します。
通知履歴	通知パネルに表示された通知の履歴を見ることができます。
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示できます。
バブル	指定した相手からメッセージ着信があったことをフローティングアイコンでお知らせするかどうかを設定します。
デバイスとアプリの通知	通知を読み取れるアプリとデバイスを設定します。
スタート画面上の通知	スタート画面に表示する通知内容を設定します。
機密性の高い通知	画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しているときに、ロック画面に表示する通知について、詳細を表示するかを設定します。
高度な通知管理	高度な通知管理の設定をします。
緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知を表示するかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可	通知のスヌーズを許可するかどうかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット	アイコンにドット（点）を表示してアプリの通知をお知らせするかどうかを設定します。
点滅	不在着信などの通知を、充電ランプの点滅でお知らせするかどうかを設定します。
拡張通知	操作の候補や返信の候補などを利用するかどうかを設定します。

※ 使用状況により表示される項目が異なる場合があります。

バッテリー

バッテリーの利用状況の確認やバッテリーセーバーの設定などができます。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [バッテリー]

XX%	電池残量と残りの使用時間（目安）などが表示されます。
バッテリー使用量	前回のフル充電からの電池の使用状況を確認したり、アプリごとにバッテリーの利用方法を設定したりできます。
バッテリーセーバー	「バッテリーセーバー」を設定すると、電池の消費を抑えることができます。手動で「バッテリーセーバーをONにする」には、「バッテリーセーバーを使用する」をONにします。「スケジュールの設定」で「残量に応じて自動でON」を選択すると、電池残量に応じて自動的にバッテリーセーバーをONにするかどうかを設定することができます。「充電時にOFFにする」をONにすると、電池が90%まで充電されると、バッテリーセーバーがOFFになります。
自動調整バッテリー	使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するか設定します。
バッテリー残量	ステータスバーにバッテリー残量（%）を表示するかどうかを設定します。
バッテリーケアモード	「バッテリーケアモード」をONにすると、充電が85%で止まり電池パックの寿命を延ばすことができます。ただし、電池残量は「100%」と表示されます。1回の充電での使用時間は短くなります。 <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーケアモードが設定されると、電池アイコンにハートマークが表示されます。
バッテリー交換	バッテリー交換（→P.18）を使用するかを設定します。使用状況に関するデータ利用（情報収集）の確認や内蔵バッテリーの状態も確認できます。

お知らせ

- アプリごとの電池使用量は電池残量が90%以上のときに、充電を終了するか本端末を再起動するとリセットされます。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカードの使用量を確認したり、microSDカードのマウント（認識する）やマウントの解除（取り出し）をすることができます。

① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]

このデバイス	microSDカードやUSBストレージを取り付けている場合に表示されます。 [このデバイス] ▶ [SDカード] / [USBドライブ] と操作すると、microSDカード/USBストレージのストレージ画面が表示されます。
XX使用	内部ストレージの使用容量と合計容量が表示されます。
空き容量を増やす	ファイルを削除して内部ストレージの空き容量を増やすことができます。
システム/アプリ/画像/ゴミ箱/ドキュメント、その他/ゲーム/音声/動画*	各機能での使用容量を確認、管理できます。

* 使用状況により表示される項目が異なる場合があります。

お知らせ

microSDカード/USBドライブのマウント/マウント解除について

- microSDカード/USBドライブのマウント：[SDカード] / [USBドライブ] ▶ [⋮] ▶ [マウント]
- microSDカード/USBドライブのマウント解除：[SDカード] / [USBドライブ] ▶ [⋮] ▶ [取り出し]

microSDカード/USBドライブのフォーマットについて

- microSDカード/USBドライブのフォーマット：[SDカード] / [USBドライブ] ▶ [⋮] ▶ [フォーマット] ▶ [SDカードをフォーマット] / [USBドライブをフォーマット]
- フォーマットを行うと、microSDカード/USBドライブの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

着信音とバイブレーション

着信音やバイブレーションなどについて設定します。

① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [着信音とバイブレーション]

メディアの音量	各種音量の調節については→P.62
通話の音量	
着信音と通知の音量	
アラームの音量	
マナーモード	マナーモードについては→P.62
着信音	着信音を設定します。
自動字幕起こし	音声を検出したときに字幕を表示するかどうかを設定できます。
メディア	メディアのプレーヤーをクイック設定パネルに表示したままにするかどうかなどを設定します。
バイブパターン	バイブレーションの振動パターンを設定します。

バイブレーションとハプティクス	バイブレーションが振動するときの強さなどを設定します。
デフォルトの通知音	標準の通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音	標準のアラーム音を設定します。
ダイヤルパッドの操作音	ダイヤルパッド操作時に音を鳴らすかどうかの設定をします。
スタート画面音	スタート画面をスライドまたは画面ロックを解除する際に音を鳴らすかどうかを設定します。 [電源ボタン]を押してスリープモードにする際も音が鳴ります。
充電開始音とバイブレーション	充電開始時に音を鳴らし、バイブレーションを振動させるかどうかを設定します。
充電完了音とバイブレーション	充電完了時に音を鳴らし、バイブレーションを振動させるかどうかを設定します。
タッチ操作音	タッチ操作時に音を鳴らすかどうかを設定します。
高度な通知管理	高度な通知管理のON/OFFができます。高度な通知管理をONにすると、通知内容ごとに通知を鳴らすタイミングや、通知をする時間帯などを設定できます。

各種音量の調節

メディアの音量、通話の音量、着信音と通知の音量、アラームの音量を調節します。

- ① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [着信音とバイブレーション]
- ② 「メディアの音量」/「通話の音量」/「着信音と通知の音量」/「アラームの音量」のスライダを左右にドラッグして、音量を調節

マナーモードの種類

- ① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [着信音とバイブレーション] ▶ [マナーモード]

バイブレーション	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。
ミュート	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。
ドライブ	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

- ① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ]


明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
---------	---------------

明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調節するかどうかを設定します。
スタート画面	スタート画面に表示する情報について設定します。
画面消灯	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
持っている間画面点灯	端末を手に持っている間は、画面を点灯するように設定します。
ダークモード	黒を基調とした画面に変更します。手動でダークモードをONにするには、「ダークモードを使用」をONにします。「スケジュール」で指定した時間や日の入りから日の出までダークモードをONにするように設定できます。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの種類や起動するタイミングを設定します。
表示サイズとテキスト	画面に表示されるフォントサイズやアイテムの表示サイズなどを設定します。
夜間モード	画面を黄味がかかった色にして、薄明かりでも画面を見やすくするように設定します。手動で夜間モードをONにするには、「夜間モードを使用」をONにします。「スケジュール」で指定した時間や日の入りから日の出まで夜間モードをONにするように設定できます。
グローブタッチモード	グローブタッチモードについては→P.63
ポケットモード	画面が点灯したときに近接センサーが覆われていることを検出すると、画面のタッチ操作を無効にして、意図しない操作を減らすように設定します。
画面の自動回転	画面の自動回転については→P.27
クイック設定の表示	通知パネルにクイック設定パネルを表示するかどうかを設定します。

壁紙の色／基本の色	設定した壁紙の色調をベースにしたカラーパレット、または画面表示の基本色を設定できます。 • 選択したカラーパレット／基本色に従って、対応する画面やアプリなどの配色が自動的にカスタマイズされます。
ダークモード	黒を基調とした画面に変更します。手動でダークモードをONにするには、「ダークモードを使用」をONにします。「スケジュール」で指定した時間や日の入りから日の出までダークモードをONにするように設定できます。
テーマアイコン	対応するアプリアイコンを、単色表示にするかどうかを設定します。 • 選択したカラーパレット／基本色や、ダークモードの設定に合わせて色に設定されます。

ユーザー補助

① ホーム画面で [設定] ▶ [ユーザー補助]

TalkBack	画面上の項目を読み上げるかどうかを設定します。
選択して読み上げ	選択したテキストを読み上げるかどうかを設定します。
表示サイズとテキスト	画面に表示されるフォントサイズやアイテムの表示サイズなどを設定します。
色と動き	色（色補正、色反転、ダークモード）や動き（アニメーション、マウスポインタ）の設定をします。
さらに輝度を下げる	設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするかどうかを設定します。
拡大	画面を拡大するショートカットと拡大の方法について設定します。
スイッチ アクセス	外付けのスイッチなどを利用して、本端末を操作するかどうかを設定します。
ユーザー補助機能メニュー	大きな画面メニューを表示するかどうかを設定します。
バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションの強さなどを設定します。
タイミングの調節	ロングタッチを検出する間隔やメッセージの表示時間など操作のタイミングについて設定します。
システム操作	システム ナビゲーションや画面の回転方法など本端末の操作について設定します。 • 「電源ボタンで通話を終了」をONにすると、  （電源ボタン）で通話を終了できます。
自動字幕起こし	音声を検出したときに字幕を表示するかどうかを設定できます。
字幕の設定	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。

グローブタッチモード

グローブタッチモードをONにすると、手袋を着用した状態でもタッチ操作を検出できるようになります。

- ① ホーム画面で [設定] ▶ [ディスプレイ]
- ② [グローブタッチモード] ▶ [グローブタッチモードを使用する] をONにする

壁紙とスタイル



ホーム画面、ロック画面の壁紙やテーマカラーなどについて設定します。

① ホーム画面で [設定] ▶ [壁紙とスタイル]

壁紙の変更	壁紙に設定したい画像を選択して、壁紙を変更できます。
-------	----------------------------

音声による説明	対応する映画や番組にて、画面の表示内容の説明を読み上げるかどうかを設定します。
音声の調整	音声再生時のチャンネルや左右の音量バランスについて設定します。
ユーザー補助機能のショートカット	ユーザー補助機能にすばやくアクセスするショートカットについて設定します。
テキスト読み上げの設定	テキスト読み上げの設定については→P.68

お知らせ

- 「電源ボタンで通話を終了」がONの状態でも、通話中にスリープモードになった場合は、（電源ボタン）を押しても通話は終了せず、スリープモードが解除されます。ディスプレイ表示中に（電源ボタン）を押すと、通話が終了します。

セキュリティ

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ]

Google Play プロテクト	アプリや本端末に不正な動作がないか定期的にチェックするかどうかを設定します。
デバイスを探す	本端末の現在地をリモートで探せるようにするかどうかなどを設定します。
セキュリティアップデート	セキュリティアップデートの確認、更新を行います。
Google Play システム アップデート	アップデートの確認、更新を行います。
セキュリティの種類	セキュリティの種類については→P.64
顔認証と指紋認証によるロック解除	指紋認証については→P.65 顔認証については→P.65
セキュリティの詳細設定	セキュリティの詳細設定については→P.64

※使用状況により表示される項目が異なる場合があります。

セキュリティの詳細設定

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [セキュリティの詳細設定]

Smart Lock	信頼できる端末や場所の登録、または持ち運び検知機能でセキュリティを自動的に解除する「Smart Lock」を設定します。 あらかじめ画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しておいてください。
デバイス管理アプリ	デバイス管理アプリを有効または無効にします。
SIM カードロック	SIMカードロックについては→P.25
暗号化と認証情報	暗号化と認証情報については→P.66

信頼エージェント	信頼できるエージェント（Smart Lockなどの機能）を管理します。 あらかじめ画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しておいてください。
アプリ固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します。 ・「アプリ固定機能を使う」をONにすると画面固定の解除後に、スタート画面を表示するかどうかを設定できます。
SIM の削除の確認	eSIMを消去する前に本人確認を行うように設定します。 あらかじめ画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しておいてください。

画面ロックの解除方法を設定




本端末の電源を入れたり、スリープモードを解除したりしたときの画面ロックの解除方法を設定します。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [セキュリティの種類]

2 [パターン] / [ロックNo.] / [パスワード]

●以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- セキュリティの種類を「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示されます。設定している方法でロックを解除してください。
- 「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」の入力を5回連続して間違えた場合は、画面ロックを解除できなくなります。30秒経過してから再度画面ロック解除の操作を行ってください。
- セキュリティの種類を「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」に設定している場合、「セキュリティの種類」の横に「」が表示されます。「」をタップすると、次の項目を設定することができます。
 - パターンを表示する
パターンの入力時に軌跡を線で表示します。セキュリティの種類を「パターン」に設定しているときに表示されます。
 - 画面消灯後からロックまでの時間
画面が消灯してから自動で画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする
（電源ボタン）を押して画面を消灯したときに、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。
 - 画面消灯に連動する
画面消灯までに設定した時間に連動して、ロック解除の画面を消灯させるかどうかを設定します。
 - データ消去
設定した最大試行回数、「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」の入力を失敗すると、本体メモリ内のすべてのデータをリセットするように設定します。
- 設定した「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」を忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

指紋認証

本端末には指紋センサーが搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
 - 指に汗や脂（ハンドクリームなど）が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手荒れや、指に損傷（切傷やただれなど）がある
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化したり
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ぶつかけたり、強い衝撃を与えないでください。また、表面をひっかいたり、先の尖ったものでついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサーの表面は時々柔らかい布などで清掃してください。

指紋の登録

- 指紋認証に使う指の指紋を登録します。
- 指紋は5件まで登録できます。
 - 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
 - あらかじめ画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しておいてください。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [顔認証と指紋認証によるロック解除]

2 「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」を入力して画面ロックを解除

3 [指紋認証]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 登録が完了すると、指紋の登録が完了したことをお知らせする画面が表示されます。「別の指紋を登録」をタップすると他の指紋を登録できます。

お知らせ

- 指紋設定画面では、次の操作ができます。
 - 指紋の名前を変更する
登録した指紋をタップ ▶ 名前を入力 ▶ [OK]
 - 指紋を削除する
登録した指紋の [田] ▶ [削除]
 - 画面消灯時に指紋を認識するように設定する
「画面OFF時に指紋認証」をONにすると、画面消灯時でも指紋を認識できるように設定します。

指紋認証を行う

1 スタート画面表示中に、登録した指で指紋センサーに触れる

- スタート画面を上をスライドすると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。

お知らせ

- 指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、スタート画面を上をスライドして、設定した画面ロックの解除方法で解除してください。

顔認証

顔認証利用時のご注意

- 顔認証は他のロック解除方法（パターン、ロックNo.、パスワードなど）より安全性が低くなります。
- 認証性能（顔をインカメラに向けた際に顔が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。
- 顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に次の点にご注意ください。
 - 明るい場所で顔を登録してください。ただし、逆光となる場所では顔を登録しないでください。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないようにしてください。
 - 顔を正面に向け、普通の表情で、顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、顔を動かしたり、目を閉じたりしないでください。
- スタート画面で顔認証を行う際は、次の点にご注意ください。
 - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 顔の角度が大きすぎると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 自分に似た人や物でもロック解除されてしまう場合があります。

顔の登録

- 顔認証に使う顔を登録します。
- あらかじめ画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しておいてください。

1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [顔認証と指紋認証によるロック解除]

2 「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」を入力して画面ロックを解除

3 [顔認証]

4 【同意する】

- 「スマホを持ち上げて画面起動を有効にする。」にチェックを入れると、「スマートフォンを持ちあげて点灯」(→P.69)が有効になります。

5 【スタート】

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

顔認証を行う

1 スタート画面表示中に、インカメラに顔を向ける

- 正しく認証されない場合は、顔の角度や距離を変更してください。

お知らせ

- 顔認証が5回連続して認識されなかった場合は、顔認証ができなくなります。しばらくしてから再度顔認証を行うか、スタート画面を上をスライドして、設定した画面ロックの解除方法で解除してください。

暗号化と認証情報

本端末やSDカードの暗号化の確認、設定や認証情報の確認ができます。

1 ホーム画面で【田】▶【設定】▶【セキュリティ】

2 【セキュリティの詳細設定】▶【暗号化と認証情報】

スマートフォンの暗号化	内部ストレージはお買い上げ時に暗号化されています。
SDカードの暗号化	SDカードの暗号化については→P.66
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
ユーザー認証情報	本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。
証明書のインストール	microSDカードから証明書をインストールします。
認証情報の消去	証明書をすべて削除します。
証明書管理アプリ	証明書管理アプリの設定をします。

SDカードの暗号化／復号化

microSDカードを暗号化すると、暗号化後にmicroSDカード内に保存したデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できません。

通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除(復号化)する必要があります。

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを【ロックNo.】または【パスワード】に設定しておいてください(→P.64)。

1 ホーム画面で【田】▶【設定】▶【セキュリティ】

2 【セキュリティの詳細設定】▶【暗号化と認証情報】▶【SDカードの暗号化】

3 【次へ】▶【ロックNo.またはパスワードを入力】

4 【暗号化】／【復号化】

お知らせ

- microSDカードを暗号化した状態で【全データを消去(出荷時リセット)】をした場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。【全データを消去(出荷時リセット)】を行う前に、復号化をしてください。

プライバシー

権限やアカウント アクティビティなど、プライバシーに関する設定を行います。

1 ホーム画面で【田】▶【設定】▶【プライバシー】

プライバシーダッシュボード	権限を最近使用したアプリを確認したり、権限の設定を変更したりします。
権限マネージャー	アプリの権限の設定を確認／変更します。
カメラへのアクセス	アプリやサービスからカメラへのアクセス権限を設定します。
マイクへのアクセス	アプリやサービスからマイクへのアクセス権限を設定します。 ・【マイクへのアクセス】をOFFにしている場合でも、緊急通報番号に発信するとマイクのデータが共有されることがあります。
パスワードの表示	ロックNo./パスワードなどの入力画面で、「●」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
スタート画面上の通知	スタート画面に表示する通知内容を設定します。
Android System Intelligence	学習した情報に基づいた提案などをキーボードの候補リストに表示するように設定したり、学習内容を削除したりします。
アプリのコンテンツ	Androidシステムにコンテンツを送信することをアプリに許可するかどうかを設定します。
クリップボードへのアクセスを表示	クリップボードにコピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスしたとき、メッセージを表示して通知するかどうかを設定します。
Googleの自動入力サービス	保存された情報を確認したり、設定を変更できます。
アクティビティ管理	アクティビティを有効にするかどうかを設定したり、Googleに保存を許可するアクティビティと情報を選択したりします。
広告	広告IDをリセットしたり、広告IDを使用しないように設定できます。
使用状況と診断情報	使用状況などをGoogleに送信するかどうかを設定します。

位置情報

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [位置情報]
- 2 「位置情報を使用」をONにする

最近のアクセス	最近の位置情報データを使用したアプリやサービスが表示されます。
すべて表示	最近の位置情報データを使用したすべてのアプリやサービスが表示されます。
アプリへの位置情報の利用許可	位置情報を使用するアプリの権限を確認/変更したり、正確な位置情報の使用を許可するかどうかを設定したりします。
位置情報サービス	位置情報サービスについては→P.67

お知らせ

位置情報（GPS機能）の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、「位置情報を使用」をOFFにしてください。
- 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

位置情報サービス

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [位置情報]
- 2 [位置情報サービス]

Google ロケーション履歴	Googleロケーション履歴を利用するかどうかを設定したり、保存されたアクティビティを管理したりします。
Google 位置情報の精度	Wi-Fiやモバイルネットワークなどを使用して、位置情報の精度を改善するかどうかを設定します。
Google 現在地の共有機能	現在地の共有状況を確認したり、共有を無効にしたりします。
地震アラート*	地震アラートを利用するかどうかを設定します。
緊急位置情報サービス	緊急位置情報サービス（ELS）を利用するかどうかを設定します。
Wi-Fi スキャン	Wi-Fi機能がOFFの場合でも、Wi-Fiネットワークのスキャンを許可するかどうかを設定します。
Bluetooth のスキャン	Bluetooth機能がOFFの場合でも、Bluetooth機器のスキャンを許可するかどうかを設定します。

※使用状況により表示される項目が異なる場合があります。

緊急情報と緊急通報

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [緊急情報と緊急通報]

緊急情報サービスを開く	緊急情報サービスを設定/表示します。
医療に関する情報	医療に関する情報を登録/確認します。
緊急連絡先	緊急連絡先を追加/確認します。

緊急 SOS	緊急SOSを使用するかどうかを設定したり、緊急SOSを使用したときの動作を設定したりします。
災害情報アラート	災害情報アラートを利用するかどうかを設定します。
緊急位置情報サービス	緊急位置情報サービス（ELS）を利用するかどうかを設定します。
地震アラート*	地震アラートを利用するかどうかを設定します。
緊急速報メール	緊急速報「エリアメール」の設定をします。

※使用状況により表示される項目が異なる場合があります。

ドコモのサービス/クラウド

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス/クラウド]

dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモアプリデータバックアップ	ドコモアプリのデータを自動的にバックアップ/復元する機能を利用するかどうかを設定したり、データがバックアップされたアプリの一覧を確認したりできます。
ドコモアプリ管理	ドコモアプリの管理をしたり、通知や自動アップデートの設定をしたりします。
おすすめアプリ	おすすめアプリの設定をしたり、過去に受信した通知を確認したりします。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
端末情報送信	端末情報をドコモが管理するサーバに送信するかどうかを設定します。
会員情報/プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用する会員情報/プロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモ初期設定	ドコモサービスの初期設定を行います。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定をします。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

お知らせ

- ドコモのサービス/クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス/クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス/クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

パスワードとアカウント

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [パスワードとアカウント]

パスワード	パスワード マネージャーの設定をします。
自動入力サービス	自動入力サービスの選択や設定を行います。
アカウントを追加	アカウントを追加については→P.68
アプリデータを自動的に同期する	アプリデータを自動的に同期するについては→P.68

アカウントを追加

オンラインサービスのアカウントを追加したり、削除したりできます。

- Googleなどのアカウントの設定については→P.24

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [パスワードとアカウント]
- 2 [アカウントを追加]
- 3 アカウントの種類をタップ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- docomoのアカウントは、お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [パスワードとアカウント]
- 2 削除するアカウントを選択
- 3 [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

アカウントの自動同期を設定

本端末とオンラインサービス上の情報を自動的に同期できます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [パスワードとアカウント]
- 2 「アプリデータを自動的に同期する」をONにする ▶ [OK]

手動同期

「アプリデータを自動的に同期する」がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。

- アカウントの種類によっては操作できない場合があります。

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [パスワードとアカウント]

- 2 アカウントを選択
- 3 [アカウントの同期] ▶ 同期する項目を選択

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を確認したり、アプリタイマーなどのツールで利用時間を管理したりして、本端末の使いすぎを防止することができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]
- 2 各項目を設定
 - 以降は画面に従って操作してください。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認/変更/削除などができます。

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [Google]
- 2 各項目を設定
 - 以降は画面に従って操作してください。

システム

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [システム]

言語と入力	言語と入力については→P.68
ジェスチャー	ジェスチャーについては→P.69
日付と時刻	日付と時刻については→P.69
自動電源ON/OFF	本端末の電源を自動でON/OFFにする時刻を設定します。
充電時自動電源ON	本端末の電源を切った状態で充電を行ったとき、自動的に電源を入れるかどうかを設定します。
バックアップ	Google アカウントを利用して、アプリのデータや本端末の設定などを自動的にバックアップするか設定します。
システム アップデート	システム アップデート（ソフトウェア アップデート）については→P.80
リセット オプション	リセット オプションについては→P.69

言語と入力

- 1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [言語と入力]

言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">● 起動中のアプリが終了する場合があります。
アプリの言語	アプリごとに言語を設定します。
画面キーボード	文字入力のソフトについて設定します。
物理キーボード	Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。

音声入力	Google音声入力に関する設定を行います。
テキスト読み上げの設定	端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
スペルチェック	スペルチェッカーを使用するかどうかを設定します。
単語リスト	単語を登録できます。
ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

ジェスチャー

☑ (電源ボタン) を押したときの動作などについて設定します。

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [ジェスチャー]

カメラをすばやく起動	☑ (電源ボタン) を2回押してカメラを起動するかどうかを設定します。
システムナビゲーション	戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えの操作について設定します。
スマートフォンを持ち上げて点灯	本製品を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。
片手モード	片手操作作用に画面を縮小するモードを設定します。
電源ボタンを長押し	☑ (電源ボタン) を長押ししたときにGoogleアシスタントを起動するかどうかなどを設定します。

日付と時刻

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [日付と時刻]

日時を自動的に設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
日付	日付を手動で設定します。
時刻	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンを自動的に設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンの設定に位置情報を使用	タイムゾーンの設定に位置情報を使用するかどうかを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。
言語 / 地域で一般的な形式を使用する	ユーザーの言語 / 地域の標準に合わせ、時刻の表示形式を自動的に切り替えるか設定します。
24時間表示	12時間制 / 24時間制を手動で切り替えます。

お知らせ

ネットワークの時刻を使用するについて

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

リセットオプション

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [システム]
- 2 [リセット オプション]

Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
アプリの設定をリセット	アプリに設定した内容をリセットします。
ダウンロードされた eSIM を消去	eSIMの情報を削除します。
全データを消去 (出荷時リセット)	本体メモリ内のすべてのデータをリセットし、本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

全データを消去 (出荷時リセット) について

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - Google アカウント
 - システムやアプリのデータと設定
 - ダウンロードしたアプリ
 - 音楽
 - 画像
 - 他のユーザーデータ

デバイス情報

- 1 ホーム画面で [田] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報]

デバイス名	デバイス名を変更できます。
電話番号 (SIM スロット 1) / 電話番号 (SIM スロット 2)	電話番号を確認できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
認証情報	認証情報を確認できます。
SIM のステータス (SIM スロット 1) / SIM のステータス (SIM スロット 2)	SIMのステータスを確認できます。
モデル	バージョンや各番号を確認できます。
IMEI (SIM スロット 1) / IMEI (SIM スロット 2)	
Android バージョン	
IP アドレス	
Wi-Fi MAC アドレス	
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	
Bluetooth アドレス	
稼働時間	
ビルド番号	

ファイル管理

ストレージ構成

本体メモリ（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

● 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	アプリのデータなどが保存されます。
Audiobooks	オーディオブックなどが保存されます。
DCIM	画像や動画が保存されます。
Documents	テキストデータなどが保存されます。
Download	ウェブブラウザでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Recordings	録音データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

● microSDカードについては→P.20

ファイル操作

ファイルやフォルダの操作

「Files」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデータを操作します。

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Files]
 - 最近使用したファイル、カテゴリ、コレクション、ストレージデバイスが表示されます。
- 2 「ストレージ デバイス」の[内部ストレージ] / [SD カード]
- 3 フォルダを選択
- 4 ファイルを選択

フォルダを作成

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の[内部ストレージ] / [SD カード]
- 3 フォルダを作成する場所へ移動
- 4 [:] ▶ [新しいフォルダを追加]
- 5 作成したいフォルダ名を入力 ▶ [フォルダを作成]

フォルダ／ファイルの名前を変更

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の[内部ストレージ] / [SD カード]
- 3 名前を変更するフォルダ／ファイルの[:] ▶ [名前を変更]
- 4 名前を入力 ▶ [OK]

フォルダ／ファイルを削除

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の[内部ストレージ] / [SD カード]
- 3 削除するフォルダ／ファイルの[:] ▶ [完全に削除]
- 4 [削除]

フォルダまたはファイルをコピー

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の[内部ストレージ] / [SD カード]
- 3 コピーするフォルダ／ファイルの[:] ▶ [コピー]
- 4 [内部ストレージ] / [SD カード]
- 5 コピーする場所を選択 ▶ [ここにコピー]

フォルダまたはファイルを移動

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の[内部ストレージ] / [SD カード]
- 3 移動したいフォルダ／ファイルの[:] ▶ [移動]
- 4 [内部ストレージ] / [SD カード]
- 5 移動する場所を選択 ▶ [ここに移動]

データ検索

「Files」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデータを検索します。

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Files]
- 2 [Q]
- 3 検索するキーワードを入力 ▶ [🔍]
- 4 検索結果からファイルを選択

データ通信

Bluetooth®通信

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- Bluetoothのバージョンについては→P.82

お知らせ

- Bluetooth機能のON/OFFの設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth機能を使用しないときは、OFFにすることで電池の消費を抑制できます。

■ Wi-Fi対応機器との電波干渉について


- Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続するには、ペア設定が必要です。

- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- あらかじめペア設定を行う機器側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がONになっていることを確認してください。

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス]
- 2 [接続の設定] ▶ [Bluetooth]
- 3 「Bluetooth を使用」をONにする
- 4 [新しいデバイスとペア設定]
- 5 Bluetooth機器を選択 ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothペア設定コード (パスコード) を入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- ペア設定されたBluetooth機器名の右の「」をタップすると、相手のBluetooth機器の名前の変更などができます。

お知らせ

- 最大7台まで同時に接続できます。プロフィールによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- Bluetooth機能をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求 / 接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の「接続済みのデバイス」を表示しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

- 1 Bluetooth機器からの登録要求 / 接続要求
- 2 ペア設定画面で[ペア設定する]
 - 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothペア設定コード (パスコード) の入力をする場合もあります。
 - 接続確認画面が表示される場合があります。

Bluetooth機器の登録解除

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス]
- 2 登録を解除するBluetooth機器名の右の「」
- 3 [削除] ▶ [このデバイスとのペア設定を解除]

Bluetooth機器の接続解除

- 1 ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス]
- 2 接続を解除するBluetooth機器名の右の「」
- 3 [接続を解除]

Bluetooth通信送受信

データを送信

例：写真 / 動画のとき

- 1 ホーム画面で[フォト]
- 2 一覧画面から送信する写真や動画をロングタッチ
- 3 [
- 4 [Bluetooth]
 - 「Bluetooth」が表示されない場合は、[その他] ▶ [Bluetooth] と操作してください。
- 5 送信先のBluetooth機器名をタップ

データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 着信通知の[承諾]
 - 通知の表示が消えたときは、ステータスバーを下にスライドして表示します。
- 3 「Bluetooth共有」の通知をタップ
 - 通知の表示が消えたときは、ステータスバーを下にスライドして表示します。
- 4 「外部からの転送」の画面で受信したデータをタップ

お知らせ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能などが本端末でご利用いただけます。

- NFC／おサイフケータイの機能の設定については→P.52

外部機器接続

パソコンとの接続

本端末とパソコンの接続方法

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USBケーブル A to C 02（別売）を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USBケーブル A to C 02のUSB Type-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

お知らせ

- 本端末が対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、USBケーブル A to C 02を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows10、Windows11（いずれも日本語版）です。

データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- 1 端末をUSBケーブル A to C 02(別売)でパソコンに接続する
- 2 「ファイル転送を有効にする」の画面で[OK]
 - 「ファイル転送を有効にする」の画面が表示されないときや、「USBの接続用途」を変更する場合は、通知パネルでUSB接続の使用方法についての通知を選択して、設定画面を表示できます。
- 3 データを転送する
- 4 利用が終わったら、USBケーブル A to C 02を端末とパソコンから取り外す

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になります。国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/>

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	5G	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	×	○	○	○	○
SMS	×	○	○	○	○
パケット通信*	×	○	○	○	○

*ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミング設定をONにしてください。→P.74

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます (→P.31)。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

ご契約・料金について

- 事前にWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。ご利用いただいている料金プランによってはお申し込みが不要です。
- 海外でのご利用料金は日本国内とは異なります。
- 詳細については、ご利用いただいている料金プランのホームページをご確認ください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知のお願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になります。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作

設定」を行うこともできます。日本国内から (→P.40)、海外から (→P.76)

- 設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者/ネットワークに接続されます。

接続について

「ネットワークを自動的に選択」をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で [Ⓜ] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM]
 - nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択します。
- 2 「データローミング」をONにする ▶ 注意画面の内容を確認して [OK]

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で [Ⓜ] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM]
 - nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択します。
- 2 「ネットワークを自動的に選択」をOFFにする
 - 利用可能なネットワークを検索して表示します。
 - ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」をOFFにして再度実行してください (→P.58)。
- 3 通信事業者のネットワークを選択

お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、手順2で「ネットワークを自動的に選択」をONにしてください。

優先ネットワークの種類の設定

- 1 ホーム画面で [Ⓜ] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [SIM]
 - nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択します。
- 2 [優先ネットワークの種類]
- 3 [5G/4G/3G/GSM] / [4G/3G/GSM] / [3G/GSM] / [GSM]

日付と時刻について

「日時を自動的に設定」、「タイムゾーンを自動的に設定」がONの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については→P.69

お問い合わせについて

- 本端末やnanoSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。
- なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国内からほかの国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、またはほかの国・地域へ国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 1 ホーム画面で[📞]▶[ダイヤル]
- 2 +([0]をロングタッチ)▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力
 - 地域番号(市外局番)が[0]で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
 - 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)を入力してください。

- 3 [📞]
- 4 通話が終了したら[📞]

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国内からほかの国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用して国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストの自動変換機能をONに設定する必要があります(→P.76)。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

- 1 ホーム画面で[📞]▶[ダイヤル]
- 2 地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力
- 3 [📞]
 - 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「変換後の番号で発信」をタップします。
- 4 通話が終了したら[📞]

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

- 1 ホーム画面で[📞]▶[ダイヤル]
- 2 電話番号を入力
 - 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。
- 3 [📞]
 - 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「元の番号で発信」をタップします。
- 4 通話が終了したら[📞]

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
+([0]をロングタッチ)-81(日本の国番号)-先頭の「0」を除いた電話番号

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」(日本の国番号)をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[📶]▶[:]

2 [通話設定]▶[ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]

- 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 [海外設定]

ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイドダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドダンスを流すことができます。
ネットワークサービス	ネットワークサービス（海外）の設定については→P.76

国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で[📶]▶[:]

2 [通話設定]▶[国際ダイヤルアシスト]

自動変換機能	国番号を自動で追加します。
国番号	自動変換機能で使用する国番号を選択します。

ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります（→P.40）。
- 海外から操作した場合は、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[📶]▶[:]

2 [通話設定]▶[ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]

- 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 [海外設定]▶[ネットワークサービス]

遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お祝いサービス（有料）	発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイドダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）	ローミング着信通知（有料）については→P.76
ローミングガイドダンス（有料）	ローミングガイドダンス（有料）については→P.76

留守番電話サービス（有料）	電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします（お申し込み必要）。
転送でんわサービス（有料）	かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます（お申し込み必要）。

4 画面表示に従って操作

5 音声ガイドダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■海外でパケット通信を利用した場合

- 「データローミング」をOFFに設定してください（→P.74）。

■帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 「優先ネットワークの種類」を「5G/4G/3G/GSM」に設定してください（→P.74）。
- 「ネットワークを自動的に選択」をONに設定してください（→P.74）。

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様で自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (→P.80)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● 電池切れになっていませんか。
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合には本端末を強制的に再起動します。 <input type="checkbox"/> (電源ボタン) と <input type="checkbox"/> (音量上ボタン) を同時に11秒以上長く押しと、再起動します。 ※強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

充電

症状	チェック項目
充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。 ● アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 ● ACアダプタ (別売) をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末にしっかりと接続されていますか。 ● USBケーブル A to C 02 (別売) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作中や充電中、充電しながらアプリ操作や動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが熱くなる場合がありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏外や (音声サービス使用不可) または (データサービス使用不可) の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。通信できない状態が続く場所では電源を切るか、機内モードに設定してください (→P.59)。 ● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 ● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電してもお買い上げ時と比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。 ● 使用していないアプリは終了してください (→P.31)。 ● Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、設定をOFFにしてください (→P.57、P.71)。 ● バッテリーセーバーを利用すると、電池の消費を抑えることができます (→P.28)。 ● バッテリーケアモードを利用すると、電池の劣化を抑えることができます (→P.61)。 ● 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 ● 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(→P.81) をご確認ください。
電源断・再起動が起きる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
タップしたり、ボタンを押ししたりしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源が切れていませんか (→P.23)。
タップしたり、ボタンを押ししたりしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ● 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
nanoSIMカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ● nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか (→P.19)。

症状	チェック項目
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日時を自動的に設定」「タイムゾーンを自動的に設定」「言語/地域で一般的な形式を使用する」がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください(→P.69)。
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 <input type="checkbox"/> (電源ボタン) を1秒以上長く押し▶「電源を切る」をロングタッチ▶[OK]と操作すると、本端末が再起動してセーフモードで起動できます。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。電源が切れているときは、<input type="checkbox"/> (電源ボタン) を画面が点灯するまで長く押し、docomoロゴが表示されたら<input type="checkbox"/> (音量下ボタン) を押し続けると、セーフモードで起動することができます。 ※必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ※アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。 ※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
アプリが正しく起動しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください(→P.61)。

通話

症状	チェック項目
発信ができない	機内モードを設定していませんか(→P.59)。
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 「着信音と通知の音量」を消音にしていませんか(→P.62)。 マナーモードを設定していませんか(→P.27)。 機内モードを設定していませんか(→P.59)。 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を「0秒」にしていませんか(→P.40)。 伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていませんか(→P.39)。 着信拒否の設定をしていませんか(→P.40)。

通話ができない(場所を移動しても表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直すか(→P.23)、電池パックまたはnanoSIMカードを入れ直してください(→P.17、P.19)。 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は」を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 着信拒否など着信制限を設定していませんか(→P.40)。 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
---	---

画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none"> 「画面消灯」を短い時間で設定していませんか(→P.62)。 「明るさのレベル」で画面の明るさを変更していませんか(→P.62)。 「明るさの自動調節」をONにしている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります(→P.62)。 近接センサー/光センサーをシールなどでふさいでいませんか(→P.16)。

音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえない、相手の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> 「通話の音量」を変更していませんか(→P.62)。 「聞こえ調整」をONに設定を変更すると、相手の音声が聞こえやすくなります(→P.39)。

メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	ドコモメールの「自動通信設定」をOFFに設定していませんか。



カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	<ul style="list-style-type: none"> おまかせロックを設定すると、NFC/おサイフケータイ ロック ON/OFFの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 NFC/おサイフケータイ ロック ON/OFFを設定していませんか(→P.52)。 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか(→P.52)。

海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない ( が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で本端末が使えない ( が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にはいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください (→P.74)。 ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。「優先ネットワークの種類」を「5G/4G/3G/GSM」に設定してください (→P.74)。「ネットワークを自動的に選択」をONに設定してください (→P.74)。 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります (→P.23)。
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 「データローミング」をONにしてください (→P.74)。
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない/相手の電話番号とは違う番号が通知される/電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動かない	<ul style="list-style-type: none"> 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none"> USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードを取り付け直してください (→P.20)。
画像を表示しようすると正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない/検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth通信対応機器 (市販品) 側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器 (市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください (→P.71)。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	<ul style="list-style-type: none"> 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対処
空き容量わずか	<ul style="list-style-type: none"> 内部ストレージがいっぱいです。アプリやデータを移動/削除してください。
音声通話サービス停止 モバイルデータサービスのブロック	<ul style="list-style-type: none"> 携帯通信会社によって一時的にOFFにされています。
モバイルネットワークが利用できません。	<ul style="list-style-type: none"> 有効なネットワークに設定されているかご確認ください。
SIM PUKがロックされました	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードのPINロック解除コード (PUK) の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。
SIM PINがロックされました	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードがPINロック解除コード (PUK) でロックされたときに表示されます。正しいPINロック解除コード (PUK) を入力してください。
SIMカードが挿入されていません-通信サービスがありません	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードが正しく取り付けられているかご確認ください。
SIM PINを入力してください。	<ul style="list-style-type: none"> PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。
ロックNo.が正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> 本端末のロック中に、本端末を操作しようとした場合に表示されます。ロックNo./パスワード/パターンを入力すると、本端末のロックが一時解除され、操作できます。
パスワードが正しくありません	
パターンが正しくありません	

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデート*とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

- **Android OSバージョンアップ**
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- **新機能追加**
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- **品質改善**
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- **セキュリティパッチの更新**
セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
- 本体設定から
ホーム画面で [設定] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [システムアップデート] と操作し、更新を開始します。
※アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。
- ※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、アクセスポイント(APN)をdocomoに設定し、docomoをモバイルデータ通信の優先設定にした場合、本アップデートにおいて通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
「今すぐ再起動」を選択すると、すぐに本端末が再起動します。
「2:00以降に再起動」を選択すると、夜間に自動で再起動されます。
- ※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に「後で行う」をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号、ソフトウェアバージョン情報など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべて機能をご利用いただけません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったり、電池パックを外したりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- サポート期間中にソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ

合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

- サポート期間終了後にソフトウェアアップデートが配信される場合がございますが、ソフトウェアアップデートについてはお客様の責任において実施してください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 電池パック KY02、リアカバー KY04<K>は無料修理保証の対象外です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください（付属品がある場合は対象に含みます）。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。

無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only on Japan.
4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 内蔵電池の交換は

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくとつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換は、有料修理となります。

■ 電池パックの交換は

電池パックは消耗品のため、保証対象外です。

電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、電池パックが膨らんでいるときは電池パックの交換時期です。指定の電池パックをお買い求めください。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。

■ 火災・けが・故障の原因となります。

● 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。

銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。

- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただきます場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

本体

サイズ	高さ：約163mm 幅：約77mm 厚さ：約14.8mm	
重量	約248g	
ディスプレイ	サイズ	約5.8インチ
	種類	TFT LCD
	解像度（ピクセル数 横×縦）	HD+（720×1560）
内蔵メモリ	RAM：4GB ROM：64GB※1	
バッテリー容量	バッテリー容量	4270mAh
	ワット時定格値	16.3Wh
連続待受時間（静止時） ※2※3※4	4G（LTE）	約480時間
連続通話時間 ※4※5	4G（LTE）	LTE（VoLTE）：約1700分 LTE（VoLTE（HD+））：約1510分
充電時間	ACアダプタ 08：約140分	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠（IEEE802.11n 対応周波数帯：2.4GHz/5GHz）※6※7
Bluetooth	バージョン※8	5.3
イヤホンマイクジャック	端子径	3.5φイヤホンジャック
	極数	4極
カメラ	有効画素数	アウトカメラ：約1600万画素 インカメラ：約800万画素
伝言メモ	保存可能件数	最大100件
	1件あたりの最大録音可能時間	最大60秒

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（→P.62）をご参照ください。
- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※3 連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※4 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
- ※5 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※6 MIMOは非対応です。
- ※7 MU-MIMO（クライアント）は非対応です。
- ※8 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

電池パック

サイズ	約54.4mm×約70.9mm×約8.55mm
重量	約78g
極数	4極

認証および準拠

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

- ① ホーム画面で[田] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [認証情報]

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種KY-51Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.742W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は1.965W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリアケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から0.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.docomo.ne.jp/product/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones

This model KY-51D mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^{(*)1} and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.742W/kg^{(*)2}, and that when worn on the body is 1.965W/kg^{(*)3}. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 0.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications

Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses

Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

(in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/>

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do

not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

■ FCC Certification Information

- The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).
The product's FCC ID is JOYEB1173.
You can view this certification in the following way.
How to confirm:
Home screen ▶ [田] ▶ [Settings] ▶ [About phone] ▶ [Compliance information]

輸出管理規制

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載したりするなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- [FOMA] [WORLD WING] [WORLD CALL] [おまかせロック] [おサイフケータイ] [公共モード] [エリアメール] [イマドサーチ] [マチキャラ] [eトリセツ] [dメニュー] [LIVE UX] [my daiz] [マイマガジン] [dアカウント] [危険です、歩きスマホ。] [オフィスリンク] [My docomo] [iD] ロゴ、[ドコモ電話帳] ロゴ、[ドコモデータコピー] ロゴは (株) NTTドコモの商標または登録商標です。
- +メッセージは、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindows® 10/Windows® 11は、米国Microsoft Corporationの米国お

よびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System®です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。




- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Allianceの商標です。



- microSD ロゴ、microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
 - ㊦はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
 - [Google] [Google] ロゴ、[Android] [Google Play] [Google Play] ロゴ、[Gmail] [Gmail] ロゴ、[Google マップ] [Google マップ] ロゴ、[YouTube]、[Google Chrome] [Google Chrome] ロゴ、[Google レンズ] [Google レンズ] ロゴ、[Google Cast] [Google アシスタント] [Google 音声検索] ロゴ、[YouTube Music] ロゴ、[Google ドライブ] [Google ドライブ] ロゴ、[Google 検索] [Google 検索] ロゴ、[Google フォト] [Google フォト] ロゴ、[Google TV] [Files] ロゴ、[Android Auto] [Chromebook] は、Google LLCの商標または登録商標です。
 - QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
 - ラジコ/radikoおよびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。
 - FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
 - 本製品の一部分に、Independent JPEGGroupが開発したモジュールが含まれています。
 - 本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com
- 
- 「ウェットタッチ」「グローブタッチ」は京セラ株式会社の登録商標です。
 - その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
 - 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。
 - この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。
 - (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
 - (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
 - (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその

他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「**■**オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「デバイス情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.

(<https://www.openssl.org>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,

PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

名前から探す

あ

アウトカメラ	16
アフターサービス	81
アプリ一覧	35
アプリ履歴	31
アラーム	53
暗証番号	25
dアカウントパスワード	25
PINコード	25
画面ロック用ロックNo./パスワード	25
ネットワーク暗証番号	25
位置情報	67
位置情報サービス	53
インカメラ	16
ウェットタッチ	3
ウェブブラウザ	44
エラーメッセージ	79
おサイフケータイ	51
おサイフケータイ対応サービス	52
設定	52
ロック	52
お知らせLED	30
お手入れ	13
主な仕様	82
音量上ボタン	16
音量下ボタン	16

か

海外利用	74
カメラ	47
画面保存	28
画面ロック	24
機内モード	59
緊急速報「エリアメール」	44
確認	44
削除	44
近接センサー	16
グローブタッチモード	63
国際ローミング	74
故障かな?と思ったら	77

さ

材質一覧	8
撮影ライト	16
指紋センサー	16
充電	22
ACアダプタ	23
DCアダプタ	23
パソコン	23
充電ランプ	16
受話口	16
肖像権	85
商標	85
初期設定	24
dアカウント	24
Google アカウント	24
ズーム	26
スケジュール	55
ステータスアイコン	30

ステータスバー	30
ステータスアイコン	30
通知アイコン	31
通知パネル	31
ストラップ取付部	16
ストレージ	62
スピーカー	16
スライド	26
スリープモード	24
スワイプ	26
セキュリティ	64
送話口	16
ソフトウェアアップデート	80

た

耐衝撃性能	11
ダイレクトボタン	16、27
タッチパネル	16
タップ	26
知的財産権	85
着信音とバイブレーション	62
著作権	85
通知アイコン	31
通知パネル	31
ディスプレイ	16、62
データセーバー	60
デザインング	59
電源	
入れる	23
切る	23
電源ボタン	16
電卓	55
電話	37
受ける	38
かける	37
通話音声メモ	40
通話設定	39
通話中の操作	38
通話履歴	39
伝言メモ	39
電話帳	40
インポート	41
エクスポート	41
お気に入り	41
グループ	41
電話をかける	41
登録	41
編集	41
ラベル	41
時計	53
ドコモデータコピー	55
ドコモのサービス/クラウド	67
ドラッグ	27
トラブルシューティング	77

な

内蔵Bluetooth/Wi-Fiアンテナ部	16
内蔵サブアンテナ部	16
ネットワークとインターネット	57

は

バーコードスキャナー	49
バイブレーション	62
パスワードとアカウント	68

バッテリー	61
バッテリー交換	18
バッテリーセーバー	28
光センサー	16
比吸収率	83
ファイル操作	70
フォト	50
プライバシー	66
フリック	26
防塵性能	11
防水性能	11
ホーム画面	33
保証	81
保留	38
本体設定	57

ま

マイク	16
マチキャラ	33
マナーモード	27
水抜き	14
メール	
+メッセージ	42
Gmail	44
緊急速報「エリアメール」	44
ドコモメール	42
メモ	55
文字入力	28
切り取り	29
コピー	29
設定	30
単語リスト	29
トグル入力	29
入力方法切り替え	28
貼り付け	29
フリック入力	29
モバイルネットワーク	58

や

ユーザー補助	63
--------	----

ら

ライト	16
ラジオ	53
ロングタッチ	26

英数字

Android 14による変更点	U-1
APN	59
Bluetooth	71
接続解除	71
接続要求	71
注意	10
登録解除	71
登録要求	71
パスコード	71
ペア設定	71
dメニュー	51
FAQ	77
FeliCa	11
Gmail	44
Google レンズ	47

GPS	67
microSDカード	20
取り付け	21
取り外し	21
nanoSIMカード	19
注意	10
取り付け	19
取り外し	20
nanoSIMカード/microSDカードトレイ	16
NFC (FeliCa) 対応アンテナ部	16
NFC通信	72
NFCリーダー/ライター	11
PINコード	25
PINロック解除コード	25
PUKコード	25
PINロック解除コード	25
Play ストア	51
PUKコード	25
SAR	83
USB Type-C接続端子	16
VPN	60
Wi-Fi	57
Wi-Fi Direct	58
設定	58
注意	10
+メッセージ	42
削除	43
設定	44
送信	42
転送	43
読む	43

目的から探す

基本操作

電源を入れる／切る	23
画面ロックを解除する	24
マナーモードにする	27
ホーム画面の見かた	33
文字を入力する	29
通知パネルを利用する	31

電話

電話をかける／受ける	37、38
電話帳を利用する	40
電話の履歴を確認する	39
伝言メモを利用する	39
通話後録音を利用する	40
通話音量を調節する	38
着信音、通知音の音量を調節する	62

メール

SMS（+メッセージ）を使う	42
Gmailを使う	44
ドコモメールを使う	42
緊急速報エリアメールを使う	44

インターネット

ホームページを見る	44
ブックマーク（お気に入り）を利用する	45

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	57
------------------	----

カメラ

写真を撮影する	47
動画を撮影する	48
撮影した写真／動画を見る	50
バーコードスキャナーを利用する	49

便利な機能

電源を入れたまま電池パックを交換する	18
メモ帳を利用する	55
スケジュールを利用する	55
おサイフケータイを利用する	51
グローブタッチモードを利用する	63

バックアップ

電話帳や画像などをバックアップする	56
-------------------	----

故障

故障かな？と思ったとき	77
お問い合わせ先	H4

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

- レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさに気をつけましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどに配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード (→P.27)

本端末から鳴る音を消します。

● 公共モード (電源OFF) (→P.40)

電話をかかってきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ (→P.62)

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

● 伝言メモ (→P.39)

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス (→P.40)、転送でんわサービス (→P.40) などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクルネットワーク
環境省/PHS/リサイクルセンター

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ (自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から dメニュー ▶ My docomo

パソコンから My docomo

(<https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にならない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントの認証」が必要です。

総合お問い合わせ

お問い合わせはこちら▶

ドコモのホームページ

<https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/>



総合お問い合わせ先 ＜ドコモ インフォメーションセンター＞

ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

☎151

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ <https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

☎113

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などから

☎0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）



法人のお客さま向けお問い合わせ先 ＜ドコモビジネスコンタクトセンター＞

☎0120-003-300

※携帯電話・PHSからでもご利用になれます。

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

※海外からはご利用になれません。

受付時間 午前9:00～午後5:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号

-81-3-6832-6600（有料）

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電



あぶない！
電池への衝撃



販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 京セラ株式会社

'24.11（2版）